

平成28年度岡山県学力・学習状況調査 調査結果報告書

倉敷市教育委員会 指導課

平成28年8月

目 次

	ページ
1 調査目的	1
2 調査対象者・実施日・問題作成の基本方針	1
3 倉敷市の学力の特徴	2
(1) 4教科・各教科の県平均正答率との比較	3
(2) 基礎問題・活用問題の県平均正答率との比較	3
(3) 各教科の正答数分布について	5
(4) 各教科のカテゴリー別正答率について	7
(5) 設問別の比較・出題のねらい (設問順, 県との差降順, 市正答率降順)	11
4 倉敷市の学習状況の特徴	23
(1) 学習状況調査 【肯定的な回答として判断できる質問内容の一覧】	24
(2) 肯定的な回答の割合が高い質問・低い質問	27
(3) 自分自身について	29
(4) 家庭での様子について	30
(5) 学校での学習について	34
(6) その他の学習について	35
5 総括	36
(1) 標準スコアによる3年間の状況	37
(2) 問題内容別正答率	37
(3) 学力調査の結果から	38
(4) 学習状況調査の結果から	39
(5) 考察	39
○ 倉敷市の取組	41
○ 〈参考資料〉	43

平成28年度 岡山県学力・学習状況調査について

1 調査目的

中学校第1学年の全生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育指導の成果と課題を検証・改善するとともに、生徒に学習状況を知らせ、生徒自らの学習等の改善に資する。また、この調査結果を踏まえ、小・中学校が連携し授業改善を推進することにより、児童生徒の学力向上を図る。

2 調査対象者・実施日・問題作成の基本方針

(1) 調査対象者

県内公立中学校・中等教育学校・特別支援学校中学部の

第1学年生徒 16, 268名

【倉敷市立中学校26校 第1学年生徒 4, 236名】

(2) 実施日 平成28年4月19日(火)

(3) 問題作成の基本方針

①教科に関する調査(国語・社会・数学・理科)

◆小学校学習指導要領に示された目標及び内容に基づき、出題範囲は、小学校6年間の学習内容とする。

◆基礎的・基本的な知識・技能及び思考力・判断力・表現力等にかかわる内容を出題する。

②学習意欲等に関する質問紙調査

◆学習意欲・学習方法・学習環境・生活の諸側面等に関する内容

※本調査は、各教科とも平均正答率60%を想定して作問されている。

※各教科の領域、観点、設問別の平均正答率については、一律に60%を想定して作問されているものではないが、既習事項の確実な定着にむけて、本調査報告書では、県との相対的な評価に加えて、各教科の領域、観点、設問別の平均正答率について、60%以上を目指すという視点からも考察する。

3 倉敷市の学力の特徴

※市と県の平均正答率の差については、小数第2位以降の数値も反映されていることから、0.1ポイントの差異が生じている場合がある。

(1) 4教科・各教科の県平均正答率との比較 〔%〕

	4教科			国語			社会			数学			理科		
年度	市	県	差	市	県	差	市	県	差	市	県	差	市	県	差
H28	61.9	62.7	-0.8	63.7	64.9	-1.2	58.8	57.3	+1.5	66.0	68.1	-2.1	58.7	60.3	-1.6
H27	60.3	60.9	-0.6	62.8	62.7	+0.1	51.4	51.6	-0.2	61.8	63.4	-1.6	65.1	65.7	-0.6
H26	57.2	57.9	-0.7	67.4	67.4	0.0	53.7	53.9	-0.3	56.5	57.7	-1.3	51.4	52.4	-1.0
H25	52.5	53.2	-0.7	57.2	58.0	-0.8	61.9	62.4	-0.6	45.1	46.2	-1.1	45.7	46.0	-0.3
H24	60.2	62.1	-1.9	69.7	71.4	-1.7	56.9	58.7	-1.9	61.0	63.2	-2.2	53.0	54.9	-1.8

〈参考〉今年度公表された県立中学校・中等教育学校進学者も含めた数値 〔%〕

	4教科	国語	社会	数学	理科
倉敷市	62.7	64.5	59.6	66.9	59.6
岡山県	62.7	64.9	57.3	68.1	60.3
差	0	-0.4	+2.3	-1.2	-0.7

○4教科の平均正答率では、市と県との差は-0.8ポイントだが、今年度の市の平均正答率は、過去5回の調査の中で最も高い数値である。授業改善の成果が表れている。

○市の各教科の平均正答率では、社会が県平均を上回っている。他の3教科は、県平均を下回っている。昨年度から参考として公表された、県立中学校・中等教育学校進学者も含めた市の数値においても、差は縮まるものの社会以外の教科においては、県平均を超えていない。

○本調査は、平均正答率60%を想定して作問されており、その視点から見ると、社会の平均正答率は県平均を上回っているが、県市ともに平均正答率が60%以上ではない。国語、数学の平均正答率は、県平均を下回っているが、県・市ともに平均正答率60%を大きく上回っている。理科の平均正答率は、市は60%を下回っており、県は60%を上回っている。

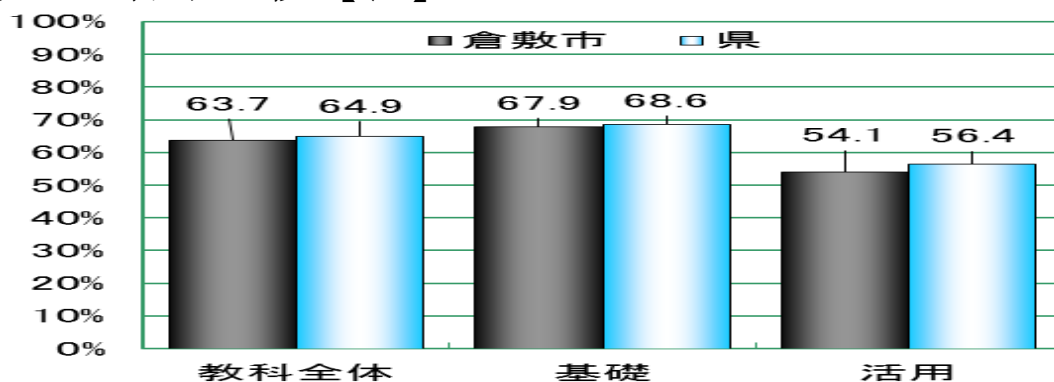
(2) 基礎問題・活用問題の県平均正答率との比較 〔%〕

	国語		社会		数学		理科	
	基礎	活用	基礎	活用	基礎	活用	基礎	活用
倉敷市平均	67.9	54.1	61.1	53.6	74.3	46.0	63.3	51.4
岡山県平均	68.6	56.4	59.5	52.2	76.2	48.3	65.0	52.6
県との差	-0.7	-2.3	+1.6	+1.4	-1.9	-2.3	-1.7	-1.2

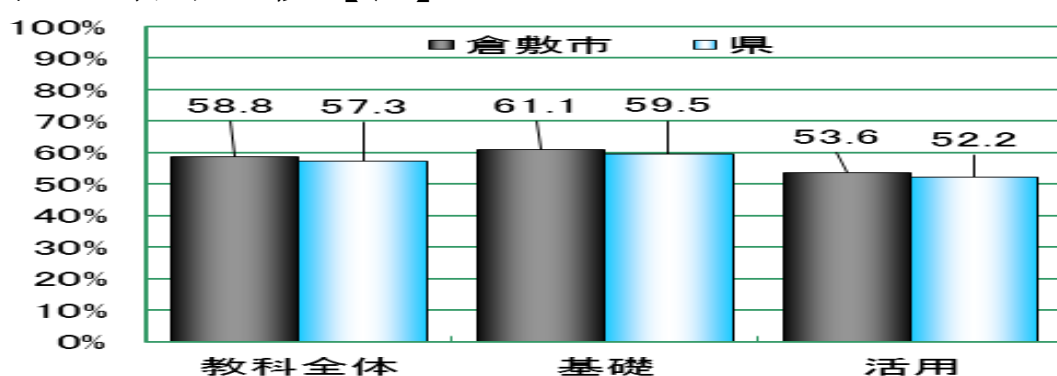
○社会の基礎、活用は、ともに県平均を上回っている。

○国語、数学の活用では、県との差が最も開いている。

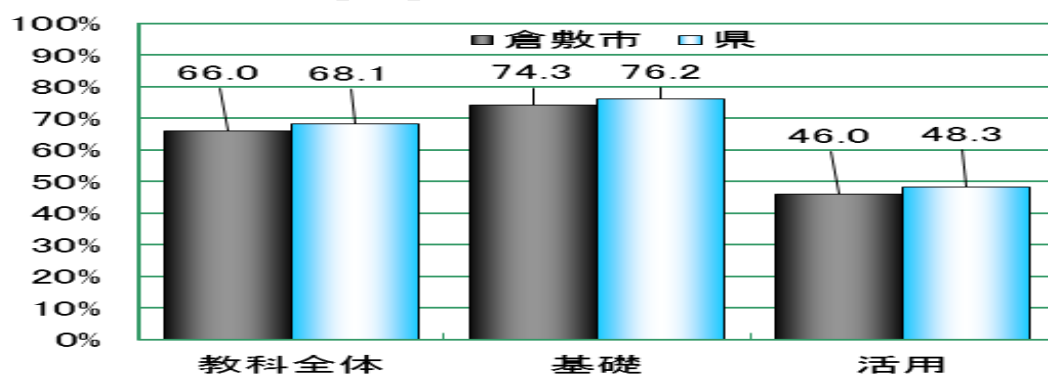
国語：正答率比較【％】



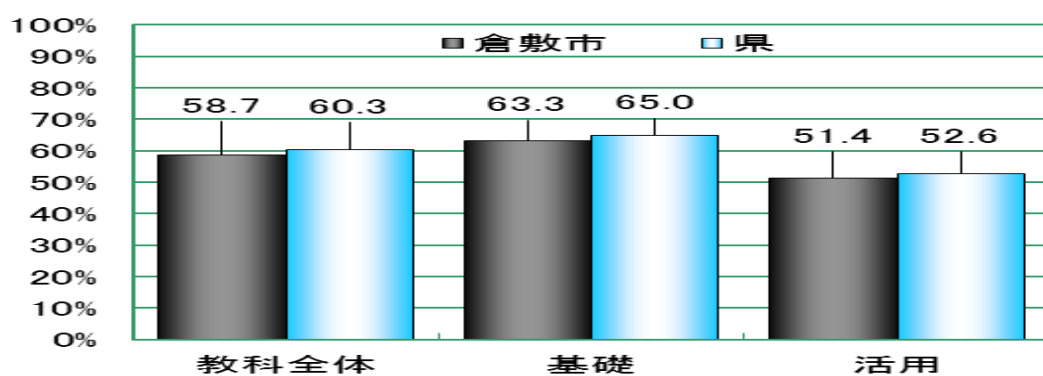
社会：正答率比較【％】



数学：正答率比較【％】

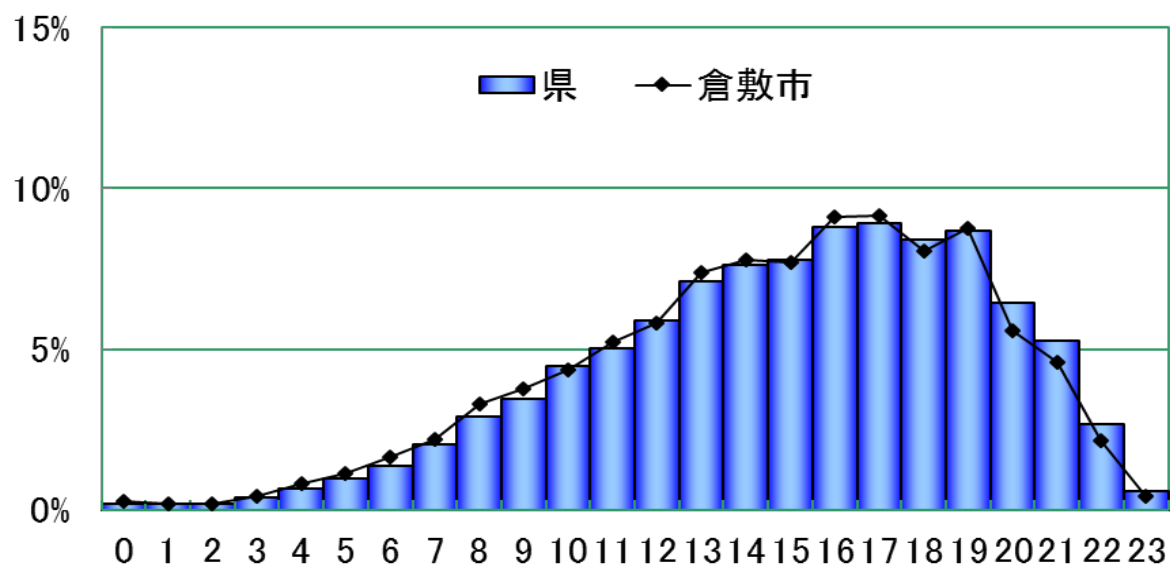


理科：正答率比較【％】

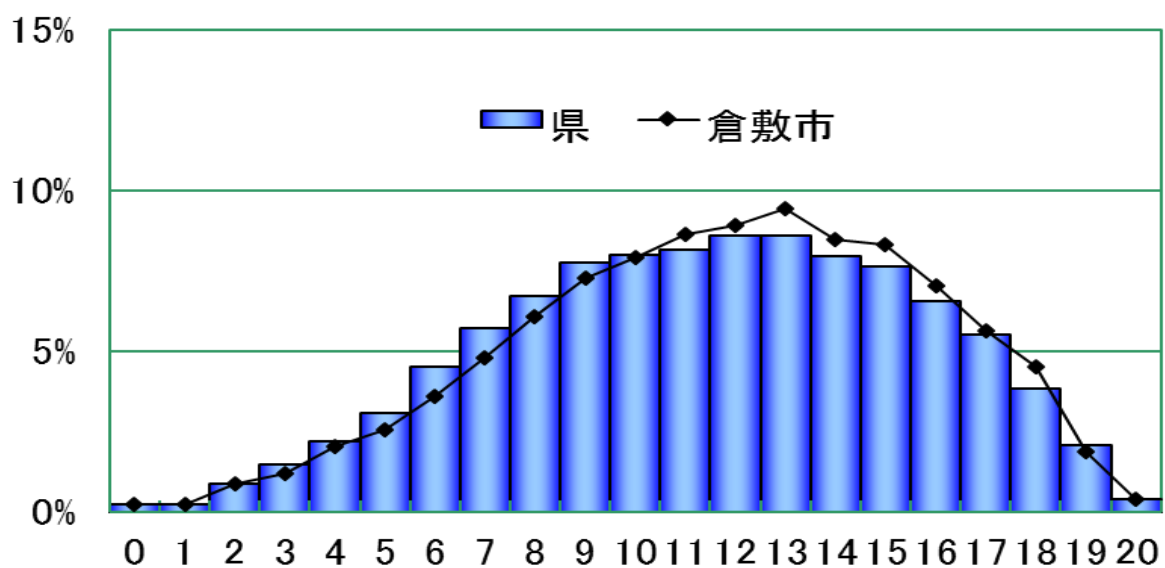


(3) 各教科の正答数分布について

【国語】(全23問)



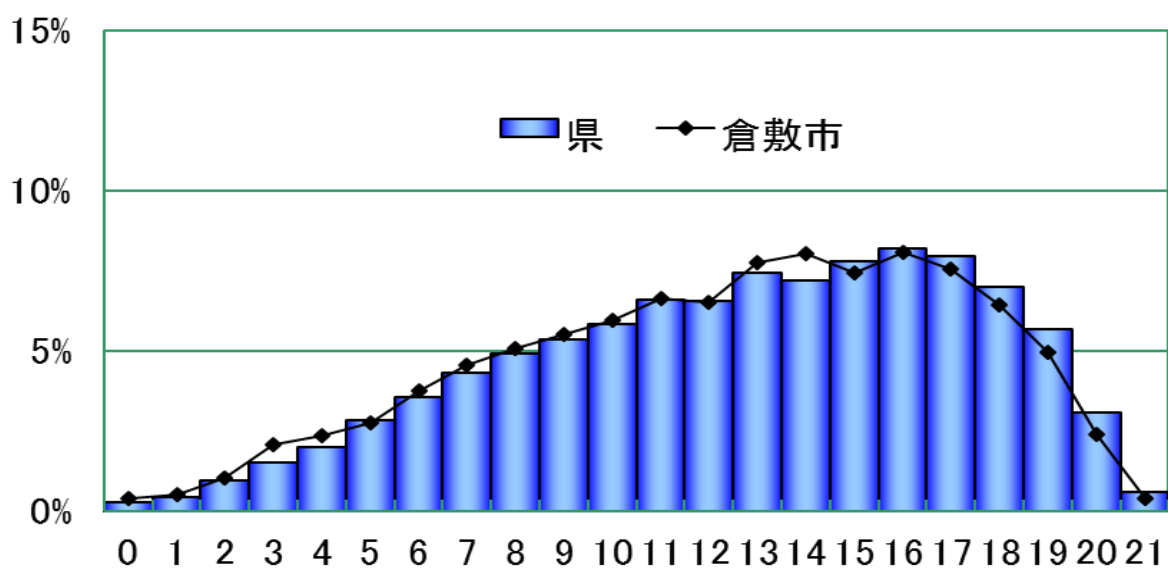
【社会】(全20問)



【数学】（全 24 問）



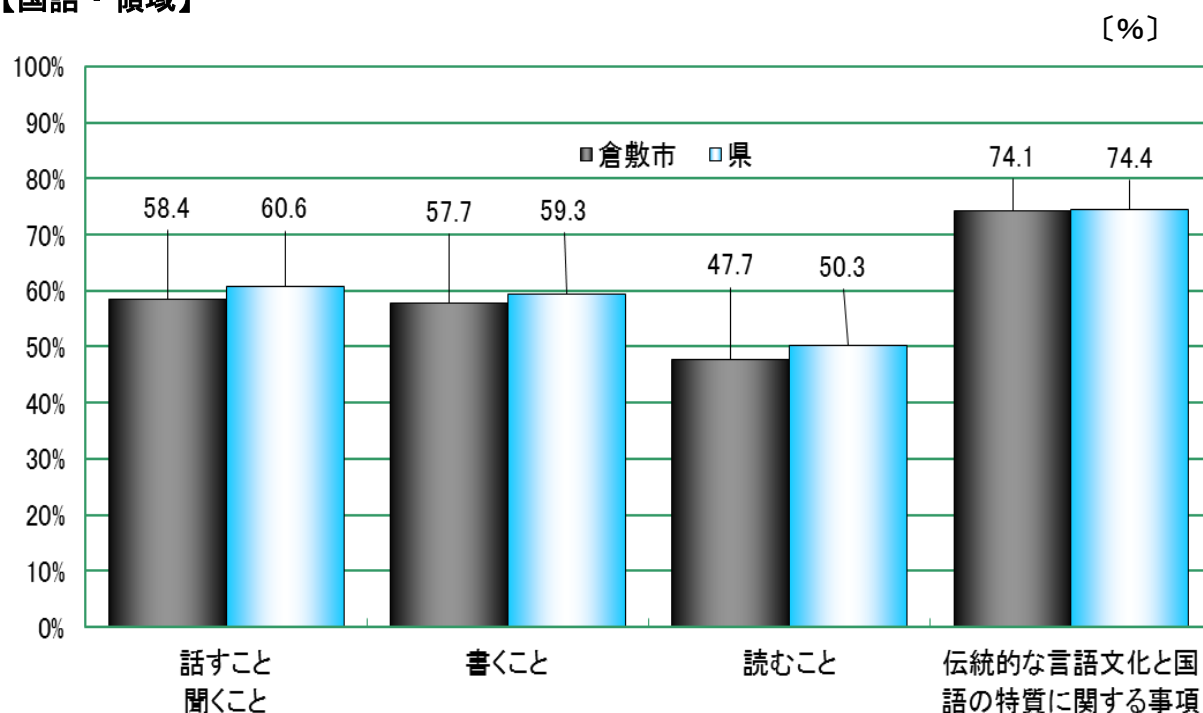
【理科】（全 21 問）



- 4 教科とも、正答数分布は、県と概ね同様の傾向になっている。
- 国語については、上位層の割合が県よりもやや低い。
- 社会については、中間層から上位層にかけての割合が県よりも高くなっている。
- 数学については、県、市とも頂上が右よりの山型になっているものの、上位層の割合が県よりもやや低い。
- 理科については、県、市とも、ややならかな山型になっており、上位層の割合が県よりもやや低い。

(4) 各教科のカテゴリー別正答率について

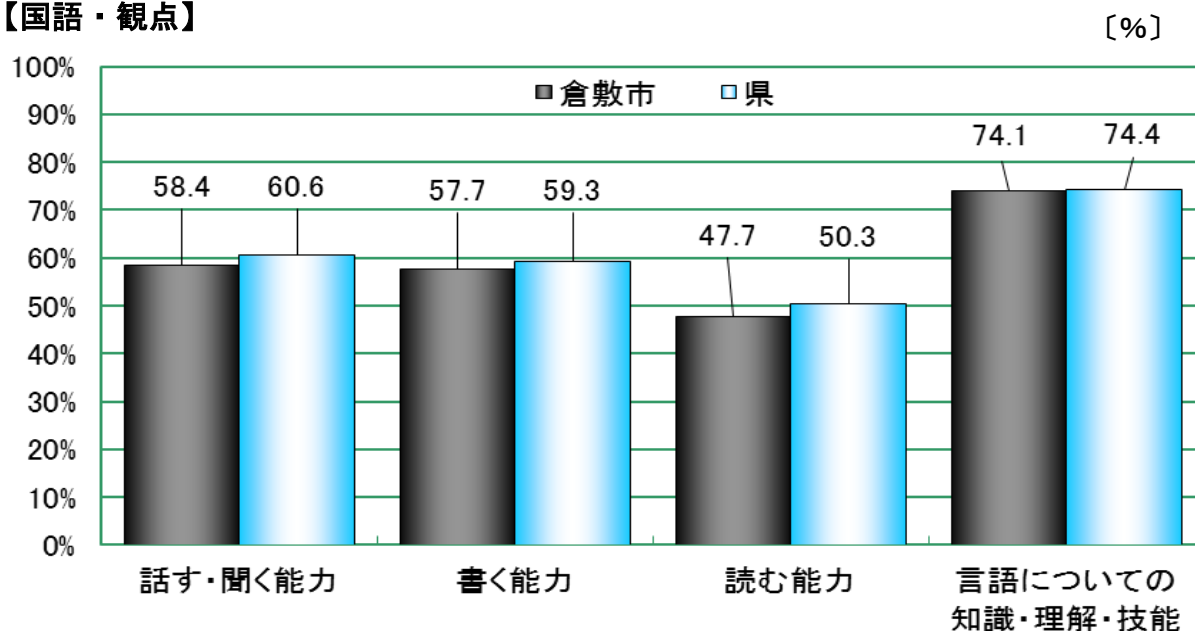
【国語・領域】



○県、市ともに「読むこと」の正答率が最も低くなっている。県との差が最も大きいのもこの領域であり、その差は-2.6ポイントである。

○「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」については、県平均を下回っているが、正答率は60%を超えている。

【国語・観点】



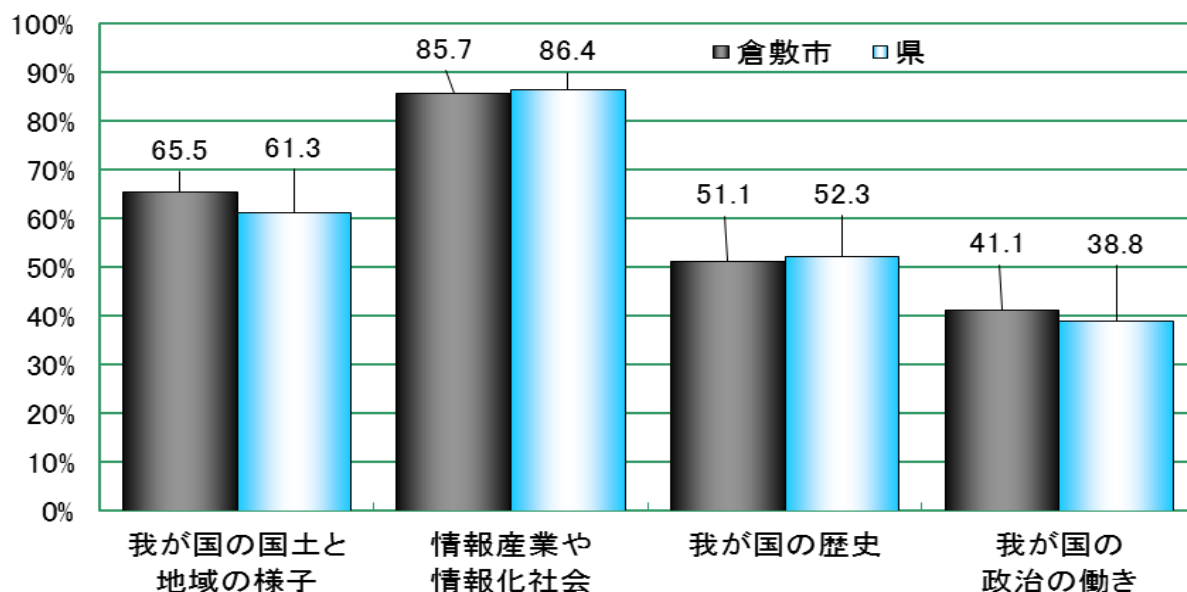
○どの観点においても、県平均を下回っている。

○「読む能力」については、正答率が最も低く、特に文章の構成を捉えることに課題が見られる。

○「言語についての知識・理解・技能」については、県平均を下回っているが、正答率60%を超えている。

【社会・領域】

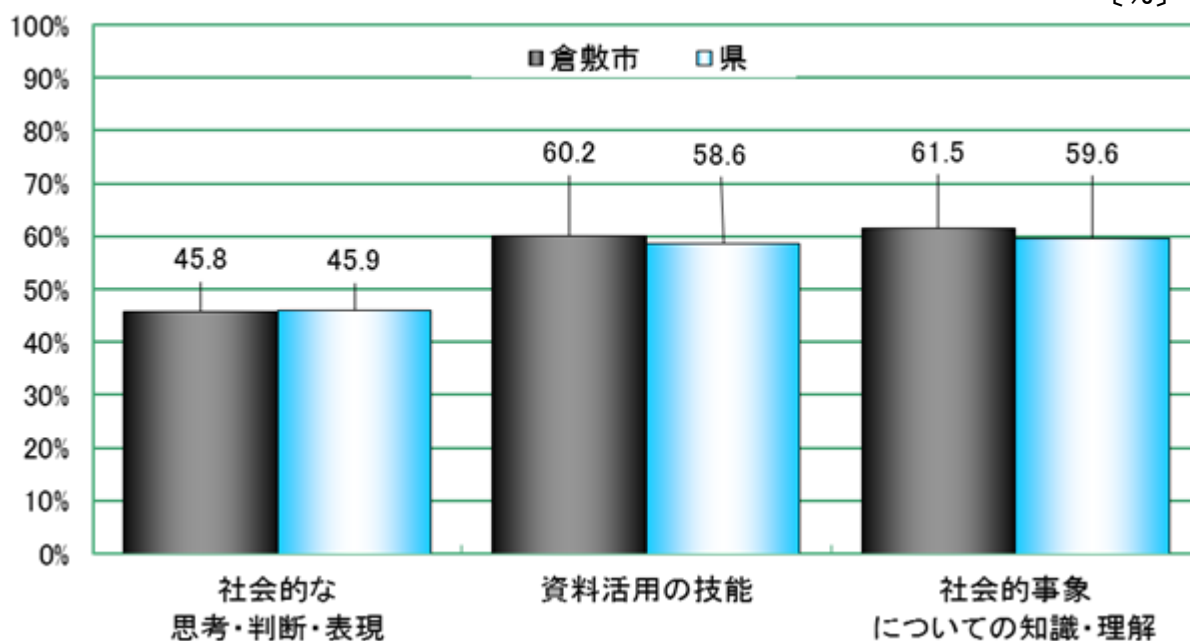
〔%〕



- 「我が国の国土と地域の様子」については4.2ポイント、「我が国の政治の働き」については2.3ポイント、県平均を上回っている。
- 「情報産業や情報化社会」の正答率については、県も市も最も高く、80%を超えている。

【社会・観点】

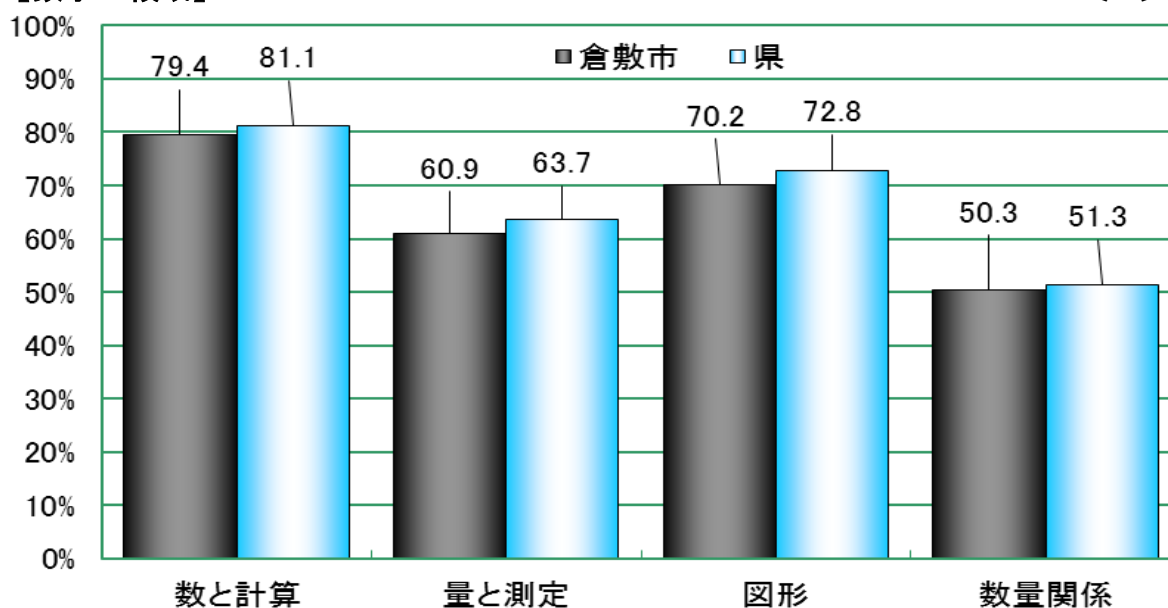
〔%〕



- 「資料活用 of 技能 (H28 : +1.6 H27 : -0.1)」、「社会的な事象についての知識・理解 (H28 : +1.9 H27 : -0.1)」については、県平均を昨年度は下回っていたが、今年度は上回っている。
- 「社会的な思考・判断・表現 (H28 : -0.1 H27 : -1.1)」については、県平均を下回っているが、昨年度と比較すると、差が縮まっている。

【数学・領域】

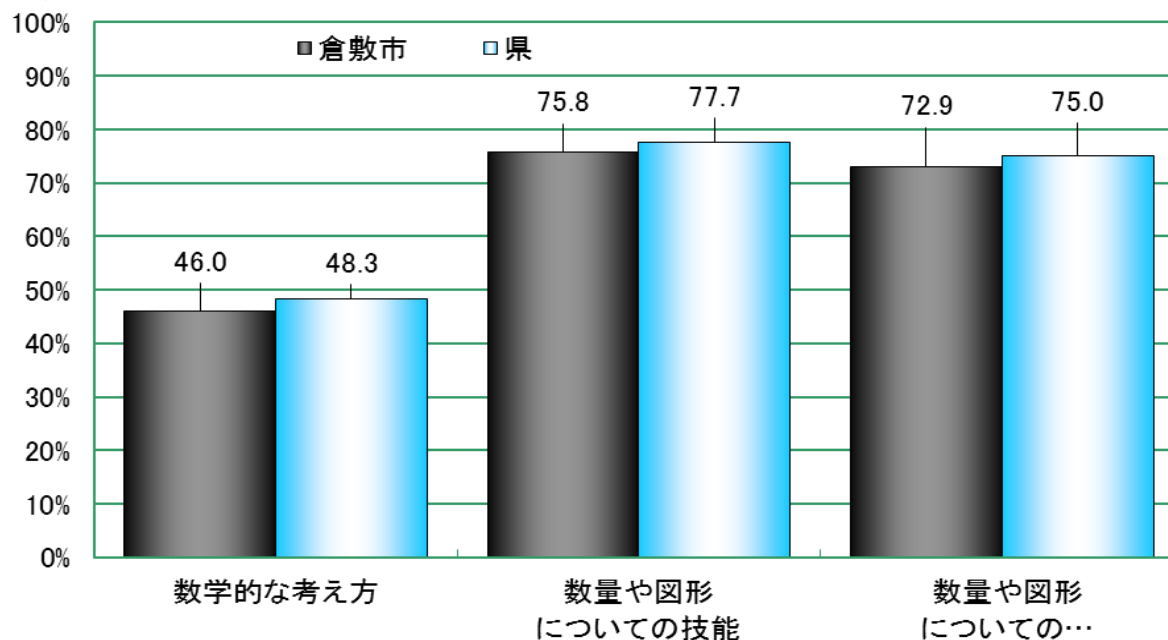
〔%〕



- 「数と計算」については、県平均を下回っているものの、正答率が8割近くまで伸びている。(H27：74.3)
- 「図形 (H28：-2.6, H27：-1.0)」, 「数量関係 (H28：-1.0, H27：-1.2)」については、昨年度と比べて県平均との差が縮まっている。

【数学・観点】

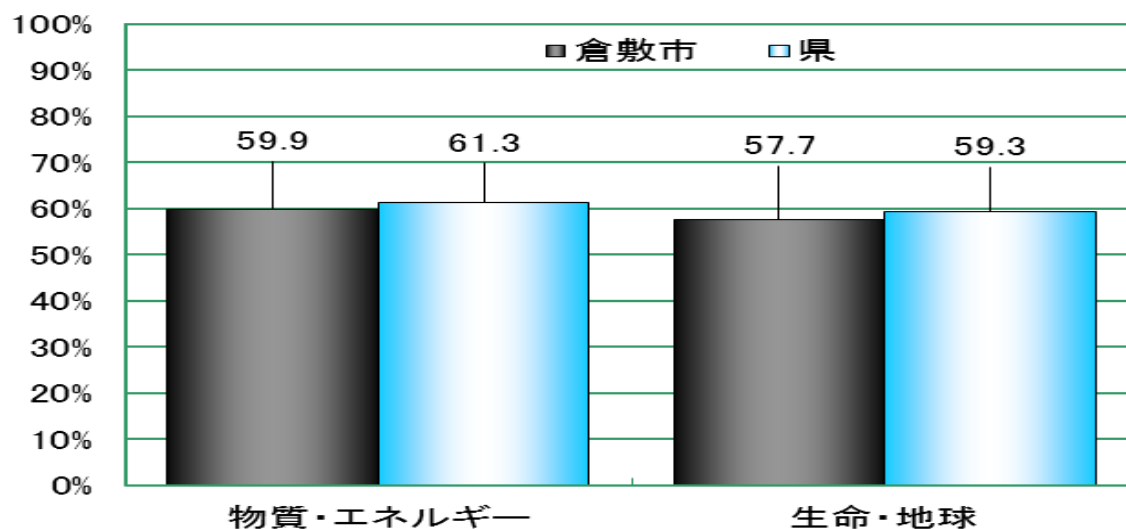
〔%〕



- 「数学的な考え方」については、最も平均正答率が低く、県平均との差も大きい。特に割合に関わる問題における課題が見られる。
- 「数量や図形についての技能」と「数や図形についての知識」については、県平均を下回っているが、正答率は60%を超えている。

【理科・領域】

〔%〕

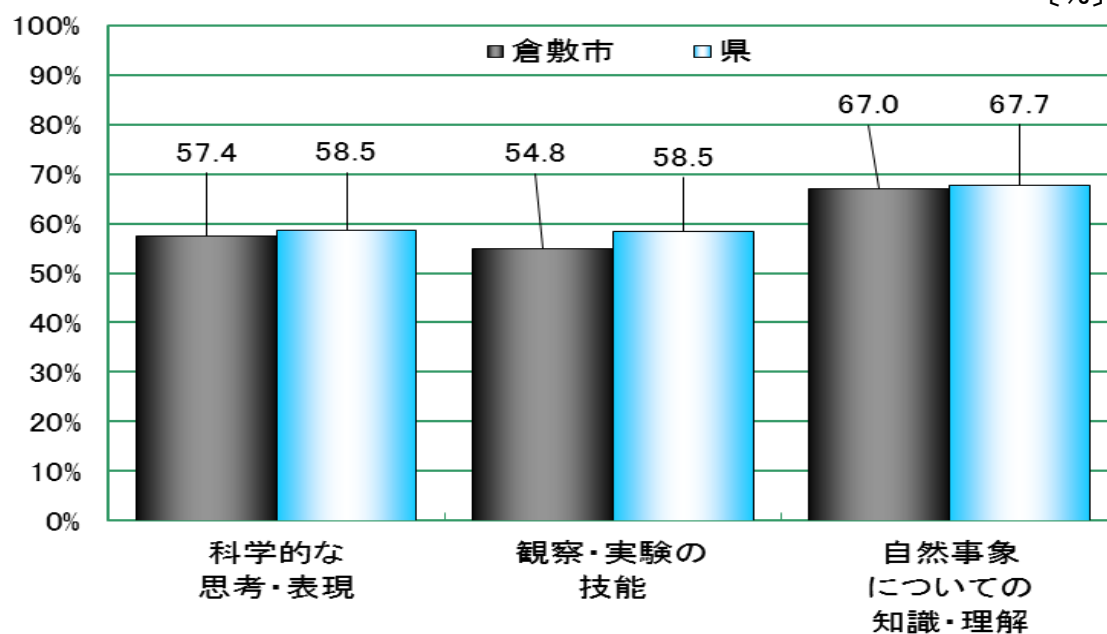


○ 2つの領域ともに、県平均を下回っている。

○ 「物質・エネルギー」の領域では「ふりこのきまり」、「生命・地球」の領域の「流れる水のはたらき」では、正答率が低く課題が見られた。

【理科・観点】

〔%〕



○ 「観察・実験の技能」については、3観点の中で平均正答率が最も低く、県平均との差も最も大きい。(-3.7) 特に、顕微鏡の操作についての問題で正答率が低く課題が見られた。

○ 「自然事象についての知識・理解」については、県平均を下回っているが、正答率は 60%を超えている。

(5) 設問別比較・出題のねらい

国 語(設問順)

通し 番号	大問 番号	中間 番号	小問 番号	問題形式			観点				基礎	活用	問題のねらい	倉敷市	県	県との差	県との差 順位	県平均との差		無回答率	
				選択	短答	記述	イ	ウ	エ	オ								-10	10	倉敷市	県
1	1	(1)	①	☆						◎	○		漢字の読み(おんだん)	91.2	92.7	-1.5	10			2.2	1.9
2	1	(1)	②	☆						◎	○		漢字の読み(かぎ)	96.5	96.7	-0.3	17			1.2	1.0
3	1	(1)	③	☆						◎	○		漢字の書き(沿岸)	44.3	44.2	0.1	20			12.7	13.3
4	1	(1)	④	☆						◎	○		漢字の書き(暮)	80.0	79.8	0.2	21			8.9	9.4
5	1	(2)	①	☆						◎	○		漢字の読み(じゅしん)	94.2	94.5	-0.3	16			0.8	0.6
6	1	(2)	②	☆						◎	○		漢字の読み(かさ)	98.3	98.3	-0.0	18			0.6	0.4
7	1	(3)	①	☆						◎	○		漢字の書き(世界)	98.4	98.4	-0.0	19			0.8	0.6
8	1	(3)	②	☆						◎	○		漢字の書き(浴)	70.6	59.6	11.0	23			8.2	16.7
9	2	(1)		☆						◎	○		文の意味のつながりを考えて、一文を二文に分けて書くことができる。	29.7	25.4	4.3	22			6.1	9.3
10	2	(2)		☆						◎	○		主語と述語を理解することができる。	63.0	68.3	-5.2	2			0.9	0.8
11	2	(3)	①	☆						◎	○		ことわざを理解することができる。	51.3	61.2	-9.9	1			26.5	20.2
12	2	(3)	②	☆						◎	○		慣用句を理解することができる。	72.0	73.7	-1.6	9			1.2	1.1
13	3	(1)		☆			◎				○		目的や意図に応じ、文章全体の構成の効果を考えて書くことができる。	41.3	42.7	-1.4	12			11.6	11.1
14	3	(2)			☆		◎				○		資料をもとに、目的や意図に応じた文章を書くことができる。	65.8	66.9	-1.0	15			5.2	5.0
15	3	(3)		☆		◎					○		文章をよりよくするための話し合いにおける司会者の工夫を理解することができる。	58.4	60.6	-2.2	7			1.9	1.5
16	3	(4)	①		☆		◎				○		目的に応じて文章と話し合いを読み取り、条件に沿ってまとめを書くことができる。	61.3	62.6	-1.3	14			11.8	11.2
17	3	(4)	②		☆		◎				○		目的に応じて文章と話し合いを読み取り、条件に沿ってまとめを書くことができる。	62.4	65.1	-2.7	5			16.7	15.3
18	4	(1)		☆			◎				○		登場人物の心情や場面についての描写を読み取ることができる。	10.1	11.5	-1.4	13			14.9	14.9
19	4	(2)		☆			◎				○		登場人物の心情や場面についての描写を読み取ることができる。	62.8	65.8	-3.0	4			17.4	15.5
20	4	(3)		☆			◎				○		登場人物の心情や場面についての描写を読み取ることができる。	65.6	67.0	-1.4	11			8.5	6.9
21	4	(4)		☆			◎				○		登場人物どうしの関係を読み取り、その内容を整理してまとめることができる。	46.8	49.3	-2.6	6			12.5	10.1
22	4	(5)		☆			◎				○		文章を読んでとらえた文章のよさについて、自分の言葉でまとめることができる。	61.5	63.3	-1.8	8			14.5	12.0
23	4	(6)			☆		◎				○		文章を読んでとらえた文章のよさについて、自分の言葉でまとめることができる。	39.5	44.7	-5.1	3			40.6	37.2
教科の正答率														63.7	64.9	-1.2					

「選択式」、「短答式」、「記述式」を☆で表しています。

観点のカタカナ表記の意味は右記の通りです。(イ)話す・聞く能力,(ウ)書く能力,(エ)読む能力,(オ)言語についての知識・理解・技能

国 語(県との差 降順)

通し 番号	大問 番号	中問 番号	小問 番号	問題形式			観点				基礎	活用	問題のねらい	倉敷市	県	県との差	県との差 順位	県平均との差		無回答率	
				選択	短答	記述	イ	ウ	エ	オ								-10	10	倉敷市	県
8	1	(3)	②		☆					◎	○		漢字の書き(浴)	70.6	59.6	11.0	23			8.2	16.7
9	2	(1)			☆					◎	○		文の意味のつながりを考えて、一文を二文に分けて書くことができる。	29.7	25.4	4.3	22			6.1	9.3
4	1	(1)	④		☆					◎	○		漢字の書き(暮)	80.0	79.8	0.2	21			8.9	9.4
3	1	(1)	③		☆					◎	○		漢字の書き(沿岸)	44.3	44.2	0.1	20			12.7	13.3
7	1	(3)	①		☆					◎	○		漢字の書き(世界)	98.4	98.4	-0.0	19			0.8	0.6
6	1	(2)	②		☆					◎	○		漢字の読み(かさ)	98.3	98.3	-0.0	18			0.6	0.4
2	1	(1)	②		☆					◎	○		漢字の読み(かぎ)	96.5	96.7	-0.3	17			1.2	1.0
5	1	(2)	①		☆					◎	○		漢字の読み(じゅしん)	94.2	94.5	-0.3	16			0.8	0.6
14	3	(2)				☆	◎				○		資料をもとに、目的や意図に応じた文章を書くことができる。	65.8	66.9	-1.0	15			5.2	5.0
16	3	(4)	①			☆	◎				○		目的に応じて文章と話し合いを読み取り、条件に沿ってまとめを書くことができる。	61.3	62.6	-1.3	14			11.8	11.2
18	4	(1)			☆			◎			○		登場人物の心情や場面についての描写を読み取ることができる。	10.1	11.5	-1.4	13			14.9	14.9
13	3	(1)			☆		◎				○		目的や意図に応じ、文章全体の構成の効果を考えて書くことができる。	41.3	42.7	-1.4	12			11.6	11.1
20	4	(3)		☆				◎			○		登場人物の心情や場面についての描写を読み取ることができる。	65.6	67.0	-1.4	11			8.5	6.9
1	1	(1)	①		☆					◎	○		漢字の読み(おんだん)	91.2	92.7	-1.5	10			2.2	1.9
12	2	(3)	②	☆						◎	○		慣用句を理解することができる。	72.0	73.7	-1.6	9			1.2	1.1
22	4	(5)		☆				◎			○		文章を読んでとらえた文章のよさについて、自分の言葉でまとめることができる。	61.5	63.3	-1.8	8			14.5	12.0
15	3	(3)		☆			◎				○		文章をよりよくするための話し合いにおける司会者の工夫を理解することができる。	58.4	60.6	-2.2	7			1.9	1.5
21	4	(4)		☆				◎			○		登場人物どうしの関係を読み取り、その内容を整理してまとめることができる。	46.8	49.3	-2.6	6			12.5	10.1
17	3	(4)	②			☆	◎				○		目的に応じて文章と話し合いを読み取り、条件に沿ってまとめを書くことができる。	62.4	65.1	-2.7	5			16.7	15.3
19	4	(2)		☆				◎			○		登場人物の心情や場面についての描写を読み取ることができる。	62.8	65.8	-3.0	4			17.4	15.5
23	4	(6)				☆		◎			○		文章を読んでとらえた文章のよさについて、自分の言葉でまとめることができる。	39.5	44.7	-5.1	3			40.6	37.2
10	2	(2)		☆						◎	○		主語と述語を理解することができる。	63.0	68.3	-5.2	2			0.9	0.8
11	2	(3)	①		☆					◎	○		ことわざを理解することができる。	51.3	61.2	-9.9	1			26.5	20.2
教科の正答率														63.7	64.9	-1.2					

「選択式」、「短答式」、「記述式」を☆で表しています。

観点のカタカナ表記の意味は右記の通りです。(イ)話す・聞く能力,(ウ)書く能力,(エ)読む能力,(オ)言語についての知識・理解・技能

社 会(設問順)

通し 番号	大問 番号	中間 番号	小問 番号	問題形式			観点			基礎	活用	問題のねらい	倉敷市	県	県との差	県との差 順位	県平均との差		無回答率	
				選択	短答	記述	イ	ウ	エ								-10	▼	10	倉敷市
1	1	(1)	①		☆				◎	○		建物の地図帳を理解している。	80.8	71.2	9.5	19			3.9	6.6
2	1	(1)	②		☆				◎	○		土地利用の地図記号を理解している。	79.3	63.4	15.8	20			2.2	4.5
3	1	(2)			☆			◎			○	四方位と建物の地図記号の理解をもとに、地図を読み取ることができる。	64.6	64.4	0.3	10			1.0	0.9
4	1	(3)				☆		◎			○	方位や地図記号、距離を表す目盛の理解をもとに、地図を読み取ることができる。	74.7	72.7	2.0	14			4.6	4.4
5	2	(1)			☆				◎	○		県の地形について理解している。	35.8	36.8	-1.0	7			7.1	6.4
6	2	(2)		☆					◎	○		県の主な産業の概要について理解している。	51.6	47.8	3.9	16			1.1	0.9
7	3	(1)		☆				◎		○		我が国の位置と領土についての理解をもとに、地図を読み取ることができる。	68.8	68.5	0.3	11			0.6	0.5
8	3	(2)		☆					◎	○		都道府県の名称と位置を理解している。	68.2	65.7	2.5	15			0.7	0.6
9	4	(1)		☆					◎	○		マスメディアの働きについて理解している。	82.3	83.6	-1.3	4			0.3	0.4
10	4	(2)		☆			◎				○	情報を発信する側の役割、受け取る側の正しい判断の必要性について考えることができる。	89.2	89.1	0.1	9			0.3	0.4
11	5	(1)			☆				◎	○		聖徳太子について理解している。	92.4	93.3	-0.9	8			3.0	2.7
12	5	(2)			☆				◎	○		平城京について理解している。	29.8	36.4	-6.6	1			12.3	11.8
13	5	(3)				☆	◎				○	大仏造営について、資料を読み取って考え、表現することができる。	37.8	39.1	-1.3	5			16.0	14.4
14	5	(4)		☆					◎	○		天皇を中心とした政治について理解している。	72.0	71.4	0.6	12			0.8	0.8
15	6	(1)		☆				◎		○		室町文化の資料を読み取ることができる。	48.1	49.2	-1.1	6			0.6	0.5
16	6	(2)	①		☆			◎			○	京都の室町に幕府が置かれたころの、代表的な建築物の資料を読み取ることができる。	44.7	38.4	6.3	17			5.9	5.9
17	6	(2)	②	☆					◎	○		室町文化の特色を理解している。	33.1	38.2	-5.2	2			0.9	0.8
18	7	(1)			☆				◎	○		税金について理解している。	80.8	73.2	7.7	18			6.0	7.6
19	7	(2)		☆					◎	○		地方公共団体の政治の働きについて理解している。	32.1	33.7	-1.6	3			1.2	1.1
20	7	(3)				☆	◎				○	地方公共団体の政治の働きについて資料を読み取って考え、表現することができる。	10.4	9.6	0.7	13			11.7	11.7
教科の正答率													58.8	57.3	1.5					

「選択式」、「短答式」、「記述式」を☆で表しています。

観点のカタカナ表記の意味は右記の通りです。(イ)社会的な思考・判断・表現, (ウ)資料活用の技能, (エ)社会的事象についての知識・理解

社 会(県との差 降順)

通し 番号	大問 番号	中間 番号	小問 番号	問題形式			観点			基礎	活用	問題のねらい	倉敷市	県	県との差	県との差 順位	県平均との差		無回答率	
				選択	短答	記述	イ	ウ	エ								-10	▼	10	倉敷市
2	1	(1)	②		☆				◎	○		土地利用の地図記号を理解している。	79.3	63.4	15.8	20		<div></div>	2.2	4.5
1	1	(1)	①		☆				◎	○		建物の地図帳を理解している。	80.8	71.2	9.5	19		<div></div>	3.9	6.6
18	7	(1)			☆				◎	○		税金について理解している。	80.8	73.2	7.7	18		<div></div>	6.0	7.6
16	6	(2)	①		☆				◎		○	京都の室町に幕府が置かれたころの、代表的な建築物の資料を読み取ることができる。	44.7	38.4	6.3	17		<div></div>	5.9	5.9
6	2	(2)			☆				◎	○		県の主な産業の概要について理解している。	51.6	47.8	3.9	16		<div></div>	1.1	0.9
8	3	(2)			☆				◎	○		都道府県の名称と位置を理解している。	68.2	65.7	2.5	15		<div></div>	0.7	0.6
4	1	(3)				☆			◎		○	方位や地図記号、距離を表す目盛の理解をもとに、地図を読み取ることができる。	74.7	72.7	2.0	14		<div></div>	4.6	4.4
20	7	(3)				☆		◎			○	地方公共団体の政治の働きについて資料を読み取って考え、表現することができる。	10.4	9.6	0.7	13		<div></div>	11.7	11.7
14	5	(4)			☆				◎	○		天皇を中心とした政治について理解している。	72.0	71.4	0.6	12		<div></div>	0.8	0.8
7	3	(1)			☆				◎	○		我が国の位置と領土についての理解をもとに、地図を読み取ることができる。	68.8	68.5	0.3	11		<div></div>	0.6	0.5
3	1	(2)			☆				◎		○	四方位と建物の地図記号の理解をもとに、地図を読み取ることができる。	64.6	64.4	0.3	10		<div></div>	1.0	0.9
10	4	(2)			☆				◎		○	情報を発信する側の役割、受け取る側の正しい判断の必要性について考えることができる。	89.2	89.1	0.1	9		<div></div>	0.3	0.4
11	5	(1)			☆				◎	○		聖徳太子について理解している。	92.4	93.3	-0.9	8		<div></div>	3.0	2.7
5	2	(1)			☆				◎	○		県の地形について理解している。	35.8	36.8	-1.0	7		<div></div>	7.1	6.4
15	6	(1)			☆				◎	○		室町文化の資料を読み取ることができる。	48.1	49.2	-1.1	6		<div></div>	0.6	0.5
13	5	(3)				☆		◎			○	大仏造営について、資料を読み取って考え、表現することができる。	37.8	39.1	-1.3	5		<div></div>	16.0	14.4
9	4	(1)			☆				◎	○		マスメディアの働きについて理解している。	82.3	83.6	-1.3	4		<div></div>	0.3	0.4
19	7	(2)			☆				◎	○		地方公共団体の政治の働きについて理解している。	32.1	33.7	-1.6	3		<div></div>	1.2	1.1
17	6	(2)	②		☆				◎	○		室町文化の特色を理解している。	33.1	38.2	-5.2	2		<div></div>	0.9	0.8
12	5	(2)			☆				◎	○		平城京について理解している。	29.8	36.4	-6.6	1		<div></div>	12.3	11.8
教科の正答率													58.8	57.3	1.5			<div></div>		

「選択式」、「短答式」、「記述式」を☆で表しています。

観点のカタカナ表記の意味は右記の通りです。(イ)社会的な思考・判断・表現, (ウ)資料活用の技能, (エ)社会的事象についての知識・理解



数 学(設問順)

通し 番号	大問 番号	中間 番号	小問 番号	問題形式			観点			基礎	活用	問題のねらい	倉敷市	県	県との差	県との差 順位	県平均との差		無回答率	
				選択	短答	記述	イ	ウ	エ								-10	▼	10	倉敷市
1	1	(1)			☆			◎		○		7×6	98.4	98.4	0.0	22			0.1	0.1
2	1	(2)			☆			◎		○		123+67	94.9	95.4	-0.6	20			0.1	0.1
3	1	(3)			☆			◎		○		6.79-0.8	80.3	80.4	-0.1	21			0.7	0.5
4	1	(4)			☆			◎		○		80-30÷5	82.8	81.3	1.5	24			0.6	0.5
5	1	(5)			☆			◎		○		1/2+1/3	80.1	83.2	-3.1	8			1.1	0.8
6	1	(6)			☆			◎		○		3/4×2.4÷6	63.0	68.0	-5.0	2			6.7	5.2
7	2	(1)			☆			◎	○			小数や分数の計算	84.4	85.7	-1.2	18			3.9	3.2
8	2	(2)			☆			◎		○		分度器を用いて、180° よりも大きい角の大きさを求めることができる。	31.9	37.3	-5.4	1			1.0	0.9
9	2	(3)		☆				◎	○			メートル法の単位(g)のしくみについて理解している。	74.7	76.5	-1.8	12			0.7	0.7
10	3	(1)			☆			◎		○		与えられた速さ(秒速)から、1分間に進む道のりを求めることができる。	75.0	77.3	-2.3	9			3.7	3.3
11	3	(2)		☆				◎	○			測定値の平均について理解している。	92.4	93.9	-1.4	17			0.6	0.6
12	4			☆				◎	○			単位量あたりの大きさ、速さ、平均	53.8	54.8	-1.0	19			0.7	0.5
13	5	(1)		☆				◎	○			見取図から、直方体の面がどのような四角形なのかを判断することができる。	81.5	83.3	-1.8	13			0.5	0.4
14	5	(2)			☆			◎	○			見取図から、直方体のある面に垂直な辺をすべて答えることができる。	61.9	66.6	-4.8	3			4.1	3.4
15	6	(1)		☆				◎	○			合同な三角形をかくために必要な条件を理解している。	71.9	73.5	-1.6	15			1.0	1.1
16	6	(2)			☆			◎	○			ある四角形の1/2の縮図の辺の長さを読み取ることができる。	72.4	74.0	-1.6	14			2.3	2.0
17	7			☆				◎	○			点対称な図形について、対応する点の位置を指摘することができる。	63.3	66.6	-3.4	6			0.7	0.6
18	8					☆	◎			○		基準量が異なれば、比較量も1/2になるとはいえないことを説明することができる。	26.5	29.8	-3.3	7			8.2	7.5
19	9	(1)				☆	◎			○		複雑な図形のある部分の面積を求める方法を説明することができる。	42.0	46.0	-3.9	5			22.8	20.3
20	9	(2)			☆		◎			○		複雑な図形のある部分の面積を求めることができる。	56.2	60.4	-4.2	4			14.0	12.4
21	10	(1)		☆			◎			○		分数で表された2つの数量の割合から、その割合を比で表したものを選択できる。	48.7	50.6	-1.8	11			1.7	1.5
22	10	(2)		☆			◎			○		表などから情報を読み取り、条件にあうコースの選び方を選択できる。	54.9	57.0	-2.1	10			1.9	1.7
23	11	(1)			☆		◎			○		規則的に並んだ正六角形の紙の枚数について、紙の枚数を求めることができる。	49.3	48.8	0.5	23			6.4	6.5
24	11	(2)			☆		◎			○		規則的に並んだ正六角形の紙の枚数について紙の枚数を求める式を立式することができる。	44.4	45.9	-1.5	16			16.3	15.4
教科の正答率													66.0	68.1	-2.1					

「選択式」、「短答式」、「記述式」を☆で表しています。

観点のカタカナ表記の意味は右記の通りです。(イ)数学的な考え方、(ウ)数量や図形についての技能、(エ)数量や図形についての知識・理解

数 学(県との差 降順)

通し 番号	大問 番号	中間 番号	小問 番号	問題形式			観点			基礎	活用	問題のねらい	倉敷市	県	県との差	県との差 順位	県平均との差		無回答率		
				選択	短答	記述	イ	ウ	エ								-10	▼	10	倉敷市	県
4	1	(4)			☆			◎		○		80-30÷5	82.8	81.3	1.5	24				0.6	0.5
23	11	(1)			☆			◎			○	規則的に並んだ正六角形の紙の枚数について、紙の枚数を求めることができる。	49.3	48.8	0.5	23				6.4	6.5
1	1	(1)			☆			◎		○		7×6	98.4	98.4	0.0	22				0.1	0.1
3	1	(3)			☆			◎		○		6.79-0.8	80.3	80.4	-0.1	21				0.7	0.5
2	1	(2)			☆			◎		○		123+67	94.9	95.4	-0.6	20				0.1	0.1
12	4			☆				◎		○		単位量あたりの大きさ、速さ、平均	53.8	54.8	-1.0	19				0.7	0.5
7	2	(1)			☆			◎		○		小数や分数の計算	84.4	85.7	-1.2	18				3.9	3.2
11	3	(2)		☆				◎		○		測定値の平均について理解している。	92.4	93.9	-1.4	17				0.6	0.6
24	11	(2)			☆			◎			○	規則的に並んだ正六角形の紙の枚数について紙の枚数を求める式を立式することができる。	44.4	45.9	-1.5	16				16.3	15.4
15	6	(1)		☆				◎		○		合同な三角形をかくために必要な条件を理解している。	71.9	73.5	-1.6	15				1.0	1.1
16	6	(2)			☆			◎		○		ある四角形の1/2の縮図の辺の長さを読み取ることができる。	72.4	74.0	-1.6	14				2.3	2.0
13	5	(1)		☆				◎		○		見取図から、直方体の面がどのような四角形なのかを判断することができる。	81.5	83.3	-1.8	13				0.5	0.4
9	2	(3)		☆				◎		○		メートル法の単位(g)のしくみについて理解している。	74.7	76.5	-1.8	12				0.7	0.7
21	10	(1)		☆				◎			○	分数で表された2つの数量の割合から、その割合を比で表したものを選択できる。	48.7	50.6	-1.8	11				1.7	1.5
22	10	(2)		☆				◎			○	表などから情報を読み取り、条件にあうコースの選び方を選択できる。	54.9	57.0	-2.1	10				1.9	1.7
10	3	(1)			☆			◎			○	与えられた速さ(秒速)から、1分間に進む道のりを求めることができる。	75.0	77.3	-2.3	9				3.7	3.3
5	1	(5)			☆			◎			○	1/2+1/3	80.1	83.2	-3.1	8				1.1	0.8
18	8					☆		◎			○	基準量が異なれば、比較量も1/2になるとはいえないことを説明することができる。	26.5	29.8	-3.3	7				8.2	7.5
17	7			☆					◎		○	点対称な図形について、対応する点の位置を指摘することができる。	63.3	66.6	-3.4	6				0.7	0.6
19	9	(1)				☆		◎			○	複雑な図形のある部分の面積を求める方法を説明することができる。	42.0	46.0	-3.9	5				22.8	20.3
20	9	(2)			☆			◎			○	複雑な図形のある部分の面積を求めることができる。	56.2	60.4	-4.2	4				14.0	12.4
14	5	(2)			☆				◎		○	見取図から、直方体のある面に垂直な辺をすべて答えることができる。	61.9	66.6	-4.8	3				4.1	3.4
6	1	(6)			☆				◎		○	3/4×2.4÷6	63.0	68.0	-5.0	2				6.7	5.2
8	2	(2)			☆				◎		○	分度器を用いて、180°よりも大きい角の大きさを求めることができる。	31.9	37.3	-5.4	1				1.0	0.9
教科の正答率													66.0	68.1	-2.1						

「選択式」、「短答式」、「記述式」を☆で表しています。

観点のカタカナ表記の意味は右記の通りです。(イ)数学的な考え方,(ウ)数量や図形についての技能,(エ)数量や図形についての知識・理解

理 科(設問順)

通し 番号	大問 番号	中間 番号	小問 番号	問題形式			観点			基礎	活用	問題のねらい	倉敷市	県	県との差	県との差 順位	県平均との差		無回答率	
				選択	短答	記述	イ	ウ	エ								-10	10	倉敷市	県
1	1	(1)		☆					◎	○		動物と植物の空気との関わり方がわかる。	90.6	90.8	-0.2	16			0.8	0.7
2	1	(2)		☆					◎	○		顕微鏡の使い方がわかる。	45.2	54.6	-9.4	1			0.6	0.5
3	1	(3)	①			☆	◎				○	試験管の片方だけにだ液を入れて実験を行った理由を説明できる。	55.3	55.0	0.3	18			11.1	10.8
4	1		②	☆			◎			○		実験結果がわかる。	48.5	48.7	-0.2	17			1.4	1.4
5	1	(4)			☆				◎	○		消化された食べ物の養分が小腸で吸収されることがわかる。	64.0	64.6	-0.5	14			1.6	1.6
6	2	(1)		☆					◎	○		方位磁針の使い方がわかる。	41.6	44.4	-2.8	5			0.9	0.7
7	2	(2)		☆					◎	○		太陽の動きと影の動きがわかる。	79.3	79.9	-0.6	13			0.6	0.5
8	2	(3)		☆			◎				○	天気から、気温のグラフを推測することができる。	85.5	86.0	-0.5	15			0.6	0.5
9	3	(1)			☆				◎	○		ふりこの長さとしりこが1往復する時間の関係をグラフに表すことができる。	56.4	59.3	-2.8	4			7.7	6.9
10	3	(2)		☆			◎				○	実験の変える条件、変えない条件がわかる。	48.7	49.5	-0.8	11			2.1	2.2
11	3	(3)		☆			◎			○		おもちゃのふりこの動きを速くする方法がわかる。	58.5	56.9	1.6	21			1.4	1.5
12	4	(1)		☆					◎	○		水溶液を用いる実験を安全に行うための注意がわかる。	76.2	75.7	0.5	19			1.7	1.6
13	4	(2)	①	☆			◎				○	水溶液を調べる実験の結果がわかる。	59.5	62.8	-3.3	3			2.4	2.2
14	4		②			☆	◎				○	予想が正しかった人を指摘し、そのように考えた理由を説明できる。	28.6	32.3	-3.7	2			5.7	5.1
15	5	(1)		☆			◎				○	実験の結果を表したグラフから読みとれることがわかる。	50.2	49.4	0.8	20			2.9	2.8
16	5	(2)				☆	◎				○	実験の結果から、電熱線の太さと発熱のしかたの関係について説明できる。	72.3	74.0	-1.7	8			10.8	9.9
17	5	(3)		☆			◎			○		電熱線の長さとしりこ発熱のしかたの関係を調べるために用いる電熱線を指摘できる。	58.3	60.9	-2.6	6			2.1	2.2
18	5	(4)		☆			◎			○		生活の中で、電気を主に光に変えて利用しているものを指摘できる。	90.2	92.7	-2.5	7			1.6	1.4
19	6	(1)		☆			◎			○		川のようにすをまとめたカードから、観察した川の様子がわかる。	79.5	81.0	-1.6	9			5.3	4.1
20	6	(2)			☆				◎	○		流れる川の三作用がわかる。	34.2	35.3	-1.2	10			10.1	9.0
21	6	(3)				☆	◎				○	災害が起きないようにするための工夫について説明できる。	11.2	11.8	-0.6	12			17.1	15.5
													58.7	60.3	-1.5					

「選択式」、「短答式」、「記述式」を☆で表しています。

観点のカタカナ表記の意味は右記の通りです。(イ)科学的な思考・表現,(ウ)観察・実験の技能,(エ)自然事象についての知識・理解

理 科(県との差 降順)

通し 番号	大問 番号	中間 番号	小問 番号	問題形式			観点			基礎	活用	問題のねらい	倉敷市	県	県との差	県との差 順位	県平均との差		無回答率	
				選択	短答	記述	イ	ウ	エ								-10	10	倉敷市	県
11	3	(3)		☆			◎			○		おもちゃのふりこの動きを速くする方法がわかる。	58.5	56.9	1.6	21			1.4	1.5
15	5	(1)		☆			◎			○		実験の結果を表したグラフから読みとれることがわかる。	50.2	49.4	0.8	20			2.9	2.8
12	4	(1)		☆				◎		○		水溶液を用いる実験を安全に行うための注意がわかる。	76.2	75.7	0.5	19			1.7	1.6
3	1	(3)	①			☆	◎			○		試験管の片方だけにだ液を入れて実験を行った理由を説明できる。	55.3	55.0	0.3	18			11.1	10.8
4	1		②	☆			◎			○		実験結果がわかる。	48.5	48.7	-0.2	17			1.4	1.4
1	1	(1)			☆				◎	○		動物と植物の空気との関わり方がわかる。	90.6	90.8	-0.2	16			0.8	0.7
8	2	(3)		☆			◎			○		天気から、気温のグラフを推測することができる。	85.5	86.0	-0.5	15			0.6	0.5
5	1	(4)			☆				◎	○		消化された食べ物の養分が小腸で吸収されることがわかる。	64.0	64.6	-0.5	14			1.6	1.6
7	2	(2)		☆					◎	○		太陽の動きと影の動きがわかる。	79.3	79.9	-0.6	13			0.6	0.5
21	6	(3)				☆	◎			○		災害が起きないようにするための工夫について説明できる。	11.2	11.8	-0.6	12			17.1	15.5
10	3	(2)		☆			◎			○		実験の変える条件、変えない条件がわかる。	48.7	49.5	-0.8	11			2.1	2.2
20	6	(2)			☆				◎	○		流れる川の三作用がわかる。	34.2	35.3	-1.2	10			10.1	9.0
19	6	(1)		☆			◎			○		川のようにすをまとめたカードから、観察した川の場所がわかる。	79.5	81.0	-1.6	9			5.3	4.1
16	5	(2)				☆	◎			○		実験の結果から、電熱線の太さと発熱のしかたの関係について説明できる。	72.3	74.0	-1.7	8			10.8	9.9
18	5	(4)		☆			◎			○		生活の中で、電気を主に光に変えて利用しているものを指摘できる。	90.2	92.7	-2.5	7			1.6	1.4
17	5	(3)		☆			◎			○		電熱線の長さや発熱のしかたの関係を調べるために用いる電熱線を指摘できる。	58.3	60.9	-2.6	6			2.1	2.2
6	2	(1)		☆				◎		○		方位磁針の使い方がわかる。	41.6	44.4	-2.8	5			0.9	0.7
9	3	(1)			☆			◎		○		ふりこの長さやふりが1往復する時間の関係をグラフに表すことができる。	56.4	59.3	-2.8	4			7.7	6.9
13	4	(2)	①	☆			◎			○		水溶液を調べる実験の結果がわかる。	59.5	62.8	-3.3	3			2.4	2.2
14	4		②			☆	◎			○		予想が正しかった人を指摘し、そのように考えた理由を説明できる。	28.6	32.3	-3.7	2			5.7	5.1
2	1	(2)		☆				◎		○		顕微鏡の使い方がわかる。	45.2	54.6	-9.4	1			0.6	0.5
													58.7	60.3	-1.5					

「選択式」、「短答式」、「記述式」を☆で表しています。

観点のカタカナ表記の意味は右記の通りです。(イ)科学的な思考・表現,(ウ)観察・実験の技能,(エ)自然事象についての知識・理解

国 語(倉敷市正答率 降順)

正答率60%以上の設問数			
倉敷市	15/23	県	16/23

通し 番号	大問 番号	中間 番号	小問 番号	問題形式			観点				基礎	活用	問題のねらい	倉敷市	県	県との差	県との差 順位	県平均との差		無回答率	
				選択	短答	記述	イ	ウ	エ	オ								-10	10	倉敷市	県
7	1	(3)	①	☆						◎	○		漢字の書き(世界)	98.4	98.4	-0.0	19			0.8	0.6
6	1	(2)	②	☆						◎	○		漢字の読み(かさ)	98.3	98.3	-0.0	18			0.6	0.4
2	1	(1)	②	☆						◎	○		漢字の読み(かぎ)	96.5	96.7	-0.3	17			1.2	1.0
5	1	(2)	①	☆						◎	○		漢字の読み(じゅしん)	94.2	94.5	-0.3	16			0.8	0.6
1	1	(1)	①	☆						◎	○		漢字の読み(おんだん)	91.2	92.7	-1.5	10			2.2	1.9
4	1	(1)	④	☆						◎	○		漢字の書き(暮)	80.0	79.8	0.2	21			8.9	9.4
12	2	(3)	②	☆						◎	○		慣用句を理解することができる。	72.0	73.7	-1.6	9			1.2	1.1
8	1	(3)	②	☆						◎	○		漢字の書き(浴)	70.6	59.6	11.0	23			8.2	16.7
14	3	(2)			☆		◎				○		資料をもとに、目的や意図に応じた文章を書くことができる。	65.8	66.9	-1.0	15			5.2	5.0
20	4	(3)		☆				◎			○		登場人物の心情や場面についての描写を読み取ることができる。	65.6	67.0	-1.4	11			8.5	6.9
10	2	(2)		☆						◎	○		主語と述語を理解することができる。	63.0	68.3	-5.2	2			0.9	0.8
19	4	(2)		☆				◎			○		登場人物の心情や場面についての描写を読み取ることができる。	62.8	65.8	-3.0	4			17.4	15.5
17	3	(4)	②		☆		◎				○		目的に応じて文章と話し合いを読み取り、条件に沿ってまとめを書くことができる。	62.4	65.1	-2.7	5			16.7	15.3
22	4	(5)		☆					◎		○		文章を読んでとらえた文章のよさについて、自分の言葉でまとめることができる。	61.5	63.3	-1.8	8			14.5	12.0
16	3	(4)	①		☆		◎				○		目的に応じて文章と話し合いを読み取り、条件に沿ってまとめを書くことができる。	61.3	62.6	-1.3	14			11.8	11.2
15	3	(3)		☆			◎				○		文章をよりよくするための話し合いにおける司会者の工夫を理解することができる。	58.4	60.6	-2.2	7			1.9	1.5
11	2	(3)	①	☆						◎	○		ことわざを理解することができる。	51.3	61.2	-9.9	1			26.5	20.2
21	4	(4)		☆				◎			○		登場人物どうしの関係を読み取り、その内容を整理してまとめることができる。	46.8	49.3	-2.6	6			12.5	10.1
3	1	(1)	③	☆						◎	○		漢字の書き(沿岸)	44.3	44.2	0.1	20			12.7	13.3
13	3	(1)		☆			◎				○		目的や意図に応じ、文章全体の構成の効果を考えて書くことができる。	41.3	42.7	-1.4	12			11.6	11.1
23	4	(6)			☆			◎			○		文章を読んでとらえた文章のよさについて、自分の言葉でまとめることができる。	39.5	44.7	-5.1	3			40.6	37.2
9	2	(1)		☆						◎	○		文の意味のつながりを考えて、一文を二文に分けて書くことができる。	29.7	25.4	4.3	22			6.1	9.3
18	4	(1)		☆				◎			○		登場人物の心情や場面についての描写を読み取ることができる。	10.1	11.5	-1.4	13			14.9	14.9
教科の正答率														63.7	64.9	-1.2					

「選択式」、「短答式」、「記述式」を☆で表しています。

観点のカタカナ表記の意味は右記の通りです。(イ)話す・聞く能力, (ウ)書く能力, (エ)読む能力, (オ)言語についての知識・理解・技能

社 会(倉敷市正答率 降順)

社 会(倉敷市正答率 降順)													正答率60%以上の設問数							
													倉敷市 11/20		県 11/20					
通し 番号	大問 番号	中間 番号	小問 番号	問題形式			観点			基礎	活用	問題のねらい	倉敷市	県	県との差	県との差 順位	県平均との差		無回答率	
				選択	短答	記述	イ	ウ	エ								-10	▼	10	倉敷市
11	5	(1)			☆				◎	○		聖徳太子について理解している。	92.4	93.3	-0.9	8	<div><div></div></div>		3.0	2.7
10	4	(2)		☆			◎				○	情報を発信する側の役割、受け取る側の正しい判断の必要性について考えることができる。	89.2	89.1	0.1	9	<div><div></div></div>		0.3	0.4
9	4	(1)		☆					◎	○		マスメディアの働きについて理解している。	82.3	83.6	-1.3	4	<div><div></div></div>		0.3	0.4
18	7	(1)			☆				◎	○		税金について理解している。	80.8	73.2	7.7	18	<div><div></div></div>		6.0	7.6
1	1	(1)	①		☆				◎	○		建物の地図帳を理解している。	80.8	71.2	9.5	19	<div><div></div></div>		3.9	6.6
2	1	(1)	②		☆				◎	○		土地利用の地図記号を理解している。	79.3	63.4	15.8	20	<div><div></div></div>		2.2	4.5
4	1	(3)				☆		◎			○	方位や地図記号、距離を表す目盛の理解をもとに、地図を読み取ることができる。	74.7	72.7	2.0	14	<div><div></div></div>		4.6	4.4
14	5	(4)		☆					◎	○		天皇を中心とした政治について理解している。	72.0	71.4	0.6	12	<div><div></div></div>		0.8	0.8
7	3	(1)		☆				◎			○	我が国の位置と領土についての理解をもとに、地図を読み取ることができる。	68.8	68.5	0.3	11	<div><div></div></div>		0.6	0.5
8	3	(2)		☆					◎	○		都道府県の名称と位置を理解している。	68.2	65.7	2.5	15	<div><div></div></div>		0.7	0.6
3	1	(2)			☆			◎			○	四方位と建物の地図記号の理解をもとに、地図を読み取ることができる。	64.6	64.4	0.3	10	<div><div></div></div>		1.0	0.9
6	2	(2)		☆					◎	○		県の主な産業の概要について理解している。	51.6	47.8	3.9	16	<div><div></div></div>		1.1	0.9
15	6	(1)		☆				◎			○	室町文化の資料を読み取ることができる。	48.1	49.2	-1.1	6	<div><div></div></div>		0.6	0.5
16	6	(2)	①		☆			◎			○	京都の室町に幕府が置かれたころの、代表的な建築物の資料を読み取ることができる。	44.7	38.4	6.3	17	<div><div></div></div>		5.9	5.9
13	5	(3)				☆	◎				○	大仏造営について、資料を読み取って考え、表現することができる。	37.8	39.1	-1.3	5	<div><div></div></div>		16.0	14.4
5	2	(1)			☆				◎	○		県の地形について理解している。	35.8	36.8	-1.0	7	<div><div></div></div>		7.1	6.4
17	6	(2)	②	☆					◎	○		室町文化の特色を理解している。	33.1	38.2	-5.2	2	<div><div></div></div>		0.9	0.8
19	7	(2)		☆					◎	○		地方公共団体の政治の働きについて理解している。	32.1	33.7	-1.6	3	<div><div></div></div>		1.2	1.1
12	5	(2)			☆				◎	○		平城京について理解している。	29.8	36.4	-6.6	1	<div><div></div></div>		12.3	11.8
20	7	(3)				☆	◎				○	地方公共団体の政治の働きについて資料を読み取って考え、表現することができる。	10.4	9.6	0.7	13	<div><div></div></div>		11.7	11.7
教科の正答率													58.8	57.3	1.5		<div><div></div></div>			

「選択式」、「短答式」、「記述式」を☆で表しています。

観点のカタカナ表記の意味は右記の通りです。(イ)社会的な思考・判断・表現, (ウ)資料活用 of 技能, (エ)社会的事象についての知識・理解

数 学(倉敷市正答率 降順)

数 学(倉敷市正答率 降順)											正答率60%以上の設問数									
											倉敷市 15/24		県 16/24							
通し 番号	大問 番号	中間 番号	小問 番号	問題形式			観点			基礎	活用	問題のねらい	倉敷市	県	県との差	県との差 順位	県平均との差		無回答率	
				選択	短答	記述	イ	ウ	エ								-10	▼	10	倉敷市
1	1	(1)			☆			◎		○		7×6	98.4	98.4	0.0	22			0.1	0.1
2	1	(2)			☆			◎		○		123+67	94.9	95.4	-0.6	20			0.1	0.1
11	3	(2)		☆				◎	○			測定値の平均について理解している。	92.4	93.9	-1.4	17			0.6	0.6
7	2	(1)			☆			◎	○			小数や分数の計算	84.4	85.7	-1.2	18			3.9	3.2
4	1	(4)			☆			◎		○		80-30÷5	82.8	81.3	1.5	24			0.6	0.5
13	5	(1)		☆				◎	○			見取図から、直方体の面がどのような四角形なのかを判断することができる。	81.5	83.3	-1.8	13			0.5	0.4
3	1	(3)			☆			◎		○		6.79-0.8	80.3	80.4	-0.1	21			0.7	0.5
5	1	(5)			☆			◎		○		1/2+1/3	80.1	83.2	-3.1	8			1.1	0.8
10	3	(1)			☆			◎		○		与えられた速さ(秒速)から、1分間に進む道のりを求めることができる。	75.0	77.3	-2.3	9			3.7	3.3
9	2	(3)		☆				◎	○			メートル法の単位(g)のしくみについて理解している。	74.7	76.5	-1.8	12			0.7	0.7
16	6	(2)			☆			◎	○			ある四角形の1/2の縮図の辺の長さを読み取ることができる。	72.4	74.0	-1.6	14			2.3	2.0
15	6	(1)		☆				◎	○			合同な三角形をかくために必要な条件を理解している。	71.9	73.5	-1.6	15			1.0	1.1
17	7			☆				◎	○			点対称な図形について、対応する点の位置を指摘することができる。	63.3	66.6	-3.4	6			0.7	0.6
6	1	(6)			☆			◎		○		3/4×2.4÷6	63.0	68.0	-5.0	2			6.7	5.2
14	5	(2)			☆			◎	○			見取図から、直方体のある面に垂直な辺をすべて答えることができる。	61.9	66.6	-4.8	3			4.1	3.4
20	9	(2)			☆		◎			○		複雑な図形のある部分の面積を求めることができる。	56.2	60.4	-4.2	4			14.0	12.4
22	10	(2)		☆			◎			○		表などから情報を読み取り、条件にあうコースの選び方を選択できる。	54.9	57.0	-2.1	10			1.9	1.7
12	4			☆				◎	○			単位量あたりの大きさ、速さ、平均	53.8	54.8	-1.0	19			0.7	0.5
23	11	(1)			☆		◎			○		規則的に並んだ正六角形の紙の枚数について、紙の枚数を求めることができる。	49.3	48.8	0.5	23			6.4	6.5
21	10	(1)		☆			◎			○		分数で表された2つの数量の割合から、その割合を比で表したものを選択できる。	48.7	50.6	-1.8	11			1.7	1.5
24	11	(2)			☆		◎			○		規則的に並んだ正六角形の紙の枚数について紙の枚数を求める式を立式することができる。	44.4	45.9	-1.5	16			16.3	15.4
19	9	(1)				☆	◎			○		複雑な図形のある部分の面積を求める方法を説明することができる。	42.0	46.0	-3.9	5			22.8	20.3
8	2	(2)			☆			◎		○		分度器を用いて、180° よりも大きい角の大きさを求めることができる。	31.9	37.3	-5.4	1			1.0	0.9
18	8					☆	◎			○		基準量が異なれば、比較量も1/2になるとはいえないことを説明することができる。	26.5	29.8	-3.3	7			8.2	7.5
教科の正答率													66.0	68.1	-2.1					

「選択式」、「短答式」、「記述式」を☆で表しています。

観点のカタカナ表記の意味は右記の通りです。(イ)数学的な考え方、(ウ)数量や図形についての技能、(エ)数量や図形についての知識・理解

理 科(倉敷市正答率 降順)

理 科(倉敷市正答率 降順)														正答率60%以上の設問数						
														倉敷市 8/21		県 10/21				
通し 番号	大問 番号	中問 番号	小問 番号	問題形式			観点			基礎	活用	問題のねらい	倉敷市	県	県との差	県との差 順位	県平均との差		無回答率	
				選択	短答	記述	イ	ウ	エ								-10	▼	10	倉敷市
1	1	(1)			☆				◎	○		動物と植物の空気との関わり方がわかる。	90.6	90.8	-0.2	16			0.8	0.7
18	5	(4)		☆			◎			○		生活の中で、電気を主に光に変えて利用しているものを指摘できる。	90.2	92.7	-2.5	7	<div></div>		1.6	1.4
8	2	(3)		☆			◎				○	天気から、気温のグラフを推測することができる。	85.5	86.0	-0.5	15	<div></div>		0.6	0.5
19	6	(1)		☆			◎			○		川のようにすまとめたカードから、観察した川の様子がわかる。	79.5	81.0	-1.6	9	<div></div>		5.3	4.1
7	2	(2)		☆					◎	○		太陽の動きと影の動きがわかる。	79.3	79.9	-0.6	13	<div></div>		0.6	0.5
12	4	(1)		☆				◎		○		水溶液を用いる実験を安全に行うための注意がわかる。	76.2	75.7	0.5	19	<div></div>		1.7	1.6
16	5	(2)				☆	◎				○	実験の結果から、電熱線の太さと発熱のしかたの関係について説明できる。	72.3	74.0	-1.7	8	<div></div>		10.8	9.9
5	1	(4)			☆				◎	○		消化された食べ物の養分が小腸で吸収されることがわかる。	64.0	64.6	-0.5	14	<div></div>		1.6	1.6
13	4	(2)	①	☆			◎				○	水溶液を調べる実験の結果がわかる。	59.5	62.8	-3.3	3	<div></div>		2.4	2.2
11	3	(3)		☆			◎			○		おもちゃのふりこの動きを速くする方法がわかる。	58.5	56.9	1.6	21	<div></div>		1.4	1.5
17	5	(3)		☆			◎			○		電熱線の長さや発熱のしかたの関係を調べるために用いる電熱線を指摘できる。	58.3	60.9	-2.6	6	<div></div>		2.1	2.2
9	3	(1)			☆			◎		○		ふりこの長さやふりが1往復する時間の関係をグラフに表すことができる。	56.4	59.3	-2.8	4	<div></div>		7.7	6.9
3	1	(3)	①			☆	◎				○	試験管の片方だけにだ液を入れて実験を行った理由を説明できる。	55.3	55.0	0.3	18	<div></div>		11.1	10.8
15	5	(1)		☆			◎			○		実験の結果を表したグラフから読みとれることがわかる。	50.2	49.4	0.8	20	<div></div>		2.9	2.8
10	3	(2)		☆			◎			○		実験の変える条件、変えない条件がわかる。	48.7	49.5	-0.8	11	<div></div>		2.1	2.2
4	1		②	☆			◎			○		実験結果がわかる。	48.5	48.7	-0.2	17	<div></div>		1.4	1.4
2	1	(2)		☆				◎		○		顕微鏡の使い方がわかる。	45.2	54.6	-9.4	1	<div></div>		0.6	0.5
6	2	(1)		☆				◎		○		方位磁針の使い方がわかる。	41.6	44.4	-2.8	5	<div></div>		0.9	0.7
20	6	(2)			☆				◎	○		流れる川の三作用がわかる。	34.2	35.3	-1.2	10	<div></div>		10.1	9.0
14	4		②			☆	◎				○	予想が正しかった人を指摘し、そのように考えた理由を説明できる。	28.6	32.3	-3.7	2	<div></div>		5.7	5.1
21	6	(3)				☆	◎				○	災害が起きないようにするための工夫について説明できる。	11.2	11.8	-0.6	12	<div></div>		17.1	15.5
														58.7	60.3	-1.5		<div></div>		

「選択式」、「短答式」、「記述式」を☆で表しています。

観点のカタカナ表記の意味は右記の通りです。(イ)科学的な思考・表現,(ウ)観察・実験の技能,(エ)自然事象についての知識・理解

4 倉敷市の学習状況の特徴

学習状況調査では、生活習慣や学習環境等の内容について、71の質問に生徒が回答している。倉敷市の学習状況として特徴的な内容について、下記の項目で分析し、掲載している。

- (1) 学習状況調査【肯定的な回答として判断できる質問内容の一覧】
- (2) 肯定的な回答の割合が高い質問・低い質問（各3問）
- (3) 自分自身について（自己意識と生活の様子）
- (4) 家庭での様子について
 - ①学習の取り組み方 ②学習時間 ③生活時間
 - ④携帯電話・スマートフォンの使い方
- (5) 学校での学習について
 - ①教科等に関する意識 ②学校の授業
- (6) その他の学習について

(1) 学習状況調査【肯定的な回答として判断できる質問内容の一覧】

上段：倉敷市 下段：岡山県

質問内容		H28 肯定率等	H27 肯定率等
(1)	ものごとを最後までやりとげて、うれしかったことがある	96.5	96.1
		96.8	96.5
(2)	自分には、よいところがあると思う	79.9	78.2
		82.9	80.7
(3)	将来の夢や目標をもっている	84.1	83.7
		85.0	84.1
(4)	新聞やテレビのニュースなどに関心がある	73.9	70.2
		75.2	71.8
(5)	今住んでいる地域の行事に参加している	54.1	55.4
		66.6	67.1
(6)	学校のきまりを守っている	96.8	95.5
		97.3	96.2
(7)	友だちとの約束を守っている	98.1	97.7
		98.4	97.9
(8)	人が困っているときは、進んで助けている	86.1	85.8
		87.9	85.7
(9)	近所の人に会ったときは、あいさつをしている	92.1	92.5
		93.9	92.7
(10)	人の気持ちがわかる人間になりたいと思う	95.3	95.0
		95.7	94.9
(11)	場面や相手に応じた言葉づかいで話すようにしている	91.0	89.3
		92.5	90.9
(12)	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う	97.5	97.3
		97.7	97.1
(13)	人の役に立つ人間になりたいと思う	95.6	95.0
		96.1	95.3
(14)	何のために勉強するのか、自分なりに考えている	80.2	79.7
		82.5	81.3
(15)	学校の行事や授業以外で、自然の中で遊んだことや自然観察をしたことがある	76.4	75.4
		78.0	77.4
(16)	学校の行事や授業以外で、年れいの異なる人と交流したことがある	78.0	77.3
		79.8	78.7
(17)	ふだん(月曜日から金曜日)、1日あたりどれくらいの時間、テレビやビデオ・DVDを見たり、聞いたりしますか。(テレビゲームをする時間は除く。)		
(18)	ふだん(月曜日から金曜日)、1日あたりどれくらいの時間、テレビゲーム(コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームもふくむ。)をしますか。		
(19)	ふだん(月曜日から金曜日)、1日あたりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか。(携帯電話やスマートフォンを使ってゲームをする時間は除く。)		
(20)	学校の授業時間以外で、ふだん(月曜日から金曜日)、1日あたりどれくらいの時間、勉強をしますか。(放課後に先生や地域の方に教わっている時間、学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間もふくむ。)		
(21)	土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日あたりどれくらいの時間、勉強をしますか。(地域の方に教わっている時間、学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間もふくむ。)		
(22)	家や図書館で、ふだん(月曜日から金曜日)、1日あたりどれくらいの時間、読書をしますか。(教科書や参考書、漫画や雑誌は除く。)		
(23)	学校の授業時間以外で、本を読んだり、借りたりするために、学校の図書室や地域の図書館へどれくらい行きますか。(教科書や参考書、漫画や雑誌は除く。)		
(24)	家で勉強をしていて、わからないことがあったらどうしますか。(あてはまる番号は1つでなくてもよい。)		
(25)	学習塾(家庭教師の先生に教わっている場合もふくむ。)に通っていますか。		

		上段：倉敷市 下段：岡山県	
質問内容		H28 肯定率等	H27 肯定率等
(26)	学習塾（家庭教師の先生に教わっている場合もふくむ。）では、どのような勉強をしていますか。		
(27)	小学校のとき、英語の塾（英語の家庭教師、英会話スクールなどもふくむ。）に通っていましたか。		
(28)	放課後や土曜日、夏休みなどで、学校の先生や地域のボランティアの方などと、学校の勉強でよくわからなかった内容や、学校の勉強より進んだ内容を勉強しましたか。（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間は除く。）	44.6	48.5
		44.1	47.5
(29)	放課後や土曜日、夏休みなどで、学校の先生や地域のボランティアの方などと勉強して、どうでしたか。（あてはまる番号は1つでなくてもよい。）		
(30)	家庭学習の内容や方法について、だれからどのように教えてもらいましたか。（あてはまる番号は1つでなくてもよい。）		
(31)	学習した内容について、家で、自分なりに整理し直したり、より深く調べたりしていますか。	57.6	57.7
		60.4	59.2
(32)	学校の授業などで、自分の考えをほかの人に説明したり、文章に書いたりするのは難しいですか。	27.4	29.1
		29.1	30.2
(33)	学校で、将来の夢や目標について考える学習や活動をしましたか。	77.7	75.7
		82.7	81.0
(34)	学校の授業で、私語が少なく、落ち着いた雰囲気の中で学習ができていましたか。	77.4	74.6
		79.0	74.5
(35)	携帯電話やスマートフォンの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか。	32.6	36.1
		33.7	38.4
(36)	自分で計画を立てて勉強をしている	64.6	64.7
		68.6	66.6
(37)	学校の宿題をしている	95.7	95.7
		96.6	96.8
(38)	学校の授業の予習をしている	46.4	46.8
		51.3	49.5
(39)	学校の授業の復習をしている	60.4	58.7
		64.6	61.5
(40)	苦手な教科の勉強をしている	61.9	59.9
		64.5	61.3
(41)	テストで間違えた問題について、間違えたところを後で勉強している	61.5	60.5
		64.0	61.7
(42)	授業のはじめに、学習のねらいや目標が示されていた	83.0	82.8
		87.1	86.8
(43)	授業の中で、自分の考えをもつ時間があった	90.1	89.5
		91.9	90.8
(44)	授業の中で、グループで様々な考えを出し合ったり、考えを深め合ったりしていた	88.0	85.8
		90.7	88.9
(45)	授業の中で、学級全体で話し合いをしていた	73.7	72.2
		78.5	75.1
(46)	授業の終わりに、学習のまとめや振り返りをしていた	82.4	76.3
		85.2	80.4
(47)	「総合的な学習の時間」の勉強は好きだ	73.3	72.3
		77.2	74.7
(48)	「総合的な学習の時間」の授業で学習したことは、ふだんの生活や社会に出たときに役に立つ	84.8	84.2
		86.9	85.3
(49)	国語の勉強は好きだ	54.4	56.2
		55.8	55.6
(50)	国語の授業の内容はよくわかる	75.0	75.6
		78.2	77.2

質問内容		H28 肯定率等	H27 肯定率等
(51)	読書は好きだ	72.6	73.9
		74.3	74.7
(52)	国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つ	89.9	89.0
		90.9	90.1
(53)	社会の勉強は好きだ	68.6	62.2
		66.4	62.5
(54)	社会の授業の内容はよくわかる	78.8	73.0
		79.1	75.2
(55)	社会の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つ	87.5	85.5
		88.4	86.4
(56)	数学(算数)の勉強は好きだ	60.5	60.2
		63.4	63.6
(57)	数学(算数)の授業の内容はよくわかる	72.3	74.3
		77.3	78.4
(58)	数学(算数)の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つ	89.8	90.7
		91.7	92.0
(59)	理科の勉強は好きだ	70.5	74.8
		72.1	74.4
(60)	観察や実験を行うことは好きだ	82.9	83.6
		84.6	84.7
(61)	理科の授業の内容はよくわかる	79.8	83.3
		82.8	84.2
(62)	理科の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つ	74.5	76.4
		77.0	76.9
(63)	外国語活動又は英語の授業は好きだった	64.0	
		67.5	
(64)	外国語活動又は英語の授業の内容はよくわかった	67.3	
		70.0	
(65)	英語を使って、友だちや先生(外国人の先生をふくむ。)と会話することは楽しかった	67.8	
		68.4	
(66)	外国の人と英語で会話ができるようになりたいと思っていた	75.3	
		77.9	
(67)	外国語活動又は英語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと感じていた	87.5	
		89.5	
(68)	調査問題の解答時間は十分でしたか。 国語		
(69)	調査問題の解答時間は十分でしたか。 社会		
(70)	調査問題の解答時間は十分でしたか。 数学		
(71)	調査問題の解答時間は十分でしたか。 理科		

(2) 肯定的な回答の割合が高い質問・低い質問

① 肯定的な回答の割合が高い質問（高い方から3問）

質問内容	[%]		
	市	県	差
(7) 友達との約束を守っている。	98.1	98.4	-0.3
(12) いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う。	97.5	97.7	-0.2
(6) 学校の決まりを守っている。	96.8	97.3	-0.5

- (7) については、H24から毎年、肯定的な回答をした生徒の割合が最も高く、友達とのかかわりを大切にしようとする意識の強さがうかがえる。(H24: 97.0, H25: 97.4, H26: 97.2, H27: 97.7)
- (12) から「いじめは絶対に許さない」という意識は引き続き高い。(H24: 96.3, H25: 96.4, H26: 96.7, H27: 97.3)
- (6) については、過去の数値と比較すると最も高い数値になっている。規範意識の高さがうかがえる。(H24: 95.0, H25: 94.5, H26: 94.8, H27: 95.5)

② 肯定的な回答の割合が低い質問（低い方から3問）

質問内容	[%]		
	市	県	差
(32) 学校の授業などで、自分の考えをほかの人に説明したり、文章に書いたりするのは難しいとは思わない。	27.4	29.1	-1.7
(38) 学校の授業の予習をしている。	46.4	51.3	-4.9
(5) 今住んでいる地域の行事に参加している。	54.1	66.6	-12.5

- (32) については、昨年に引き続き肯定的な回答の割合が、県も市も最も低い。授業の中で、自分の考えをもち、グループで出し合ったり、学級全体で話し合ったりする時間は、昨年に比べ多く設定されるようになっているが、適切に説明したり、書いたりすることについては、根気強く指導していく必要がある。
- (38) については、県と比べて4.9ポイント下回っている。市内には、研究実践の中で予習について取り上げている学校もある。適切な予習の在り方について各学校に指導するとともに、優れた実践を積極的に紹介していく等の取組を推進していく必要がある。
- (5) については、昨年と比べると数値が伸びていない。
市: H27⇒H28 (55.4⇒54.1), 県: H27⇒H28 (67.1⇒66.6)

③ 肯定的な回答の割合が県よりも高い〔県との差が小さい〕質問
(県との差が小さい方から3問)

[%]

質問内容	市	県	差
(53) 社会の勉強は好きだ。	68.6	66.4	+2.3
(12) いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う。	97.5	97.7	-0.2
(7) 友達の約束を守っている。	98.1	98.4	-0.3

○県よりも肯定的な回答の割合が高い質問は、1問のみであった。子どもたちの学校生活はもちろん家庭学習を含めた基本的生活習慣にも改善が求められる。

○(53)については、県と比べて2.3ポイント上回っている。学力調査においても、社会は、県平均を上回っているため、勉強が好きであることと、学力調査の結果に相関がみられる。

○(12)、(7)については、県との差はわずかにあるものの、ほぼ全ての生徒が肯定的な回答をしている。

④ 肯定的な回答の割合が県よりも低い質問（低い方から3問）

[%]

質問内容	市	県	差
(5) 今住んでいる地域の行事に参加している。	54.1	66.6	-12.5
(57) 数学（算数）の授業の内容はよく分かる。	72.3	77.3	-5.0
(38) 学校の授業の予習をしている。	46.4	51.3	-4.9

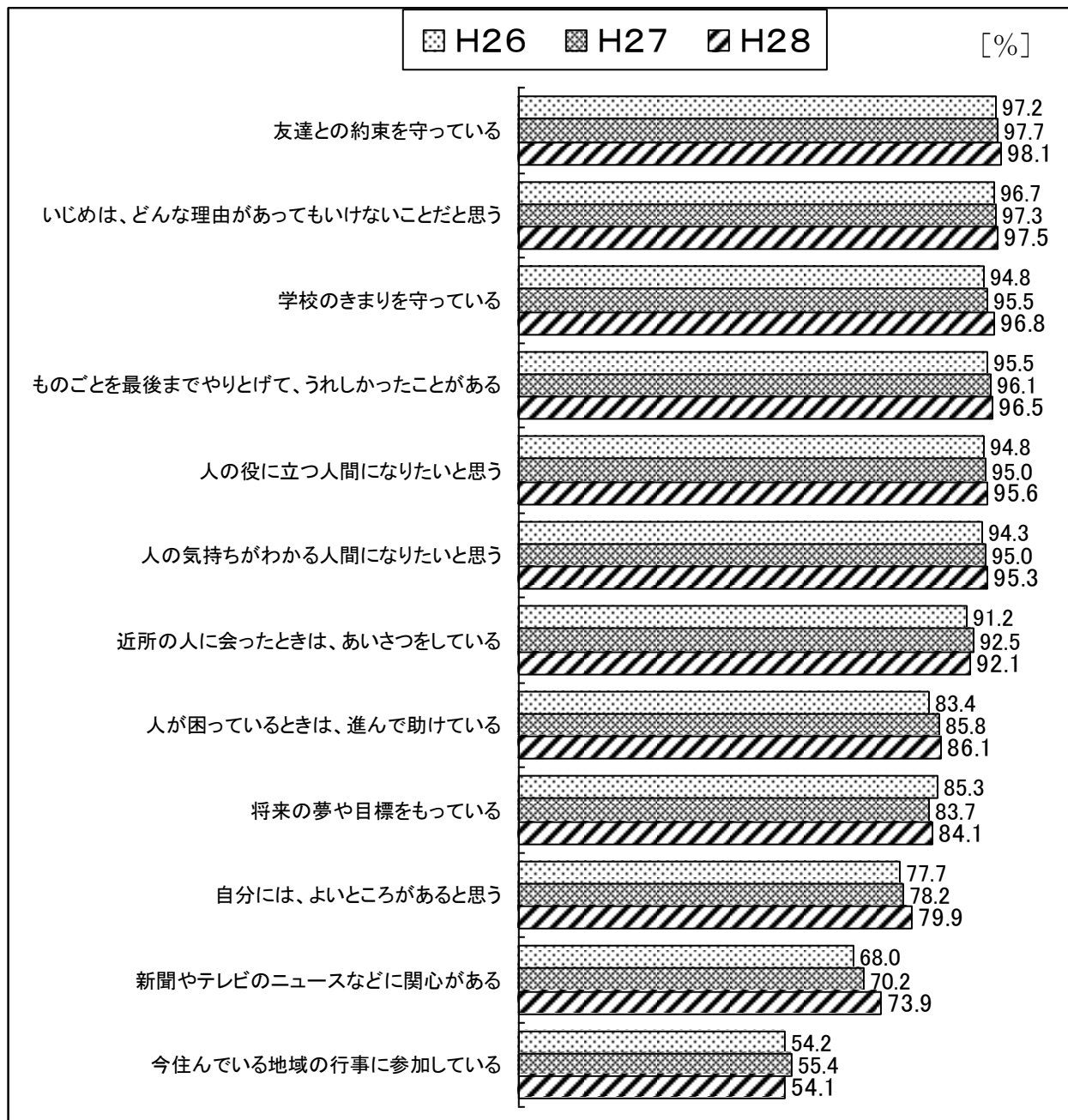
○(5)は、県の平均と比べ、H24から引き続き、10ポイント以上も低い結果となっている。

「(9) 近所の人に会ったときには、あいさつをしている。」(H28:92.1 県との差-1.8)や「(16) 学校の行事や授業以外で、年齢の異なる人と交流したことがある。」(H28:78.0 県との差-1.9)では、肯定的な回答の割合が高く、県の平均との差も小さいことから、地域の行事には参加しづらい状況にあるものの、幅広くコミュニケーションをしていることが推察できる。

○(57)については、補充学習によるつまずき解消だけでなく、授業時間内により多くの生徒が「わかった。できた。」を味わうことができるよう、また、生徒の「振り返り」の内容からつまずきを見つけ、それ以後の授業で解消を図ることができるよう、形成的評価を大切に、個別指導や支援の工夫をする必要がある。

(3) 自分自身について（自己意識と生活の様子）

◇次のことは、あなたにどれくらい当てはまりますか。



○3か年とも、肯定的な回答をした生徒の割合が90%を超えている項目は7項目ある。そのうち6項目についてはH26から肯定的な回答の割合が、少しずつ増える傾向にある。

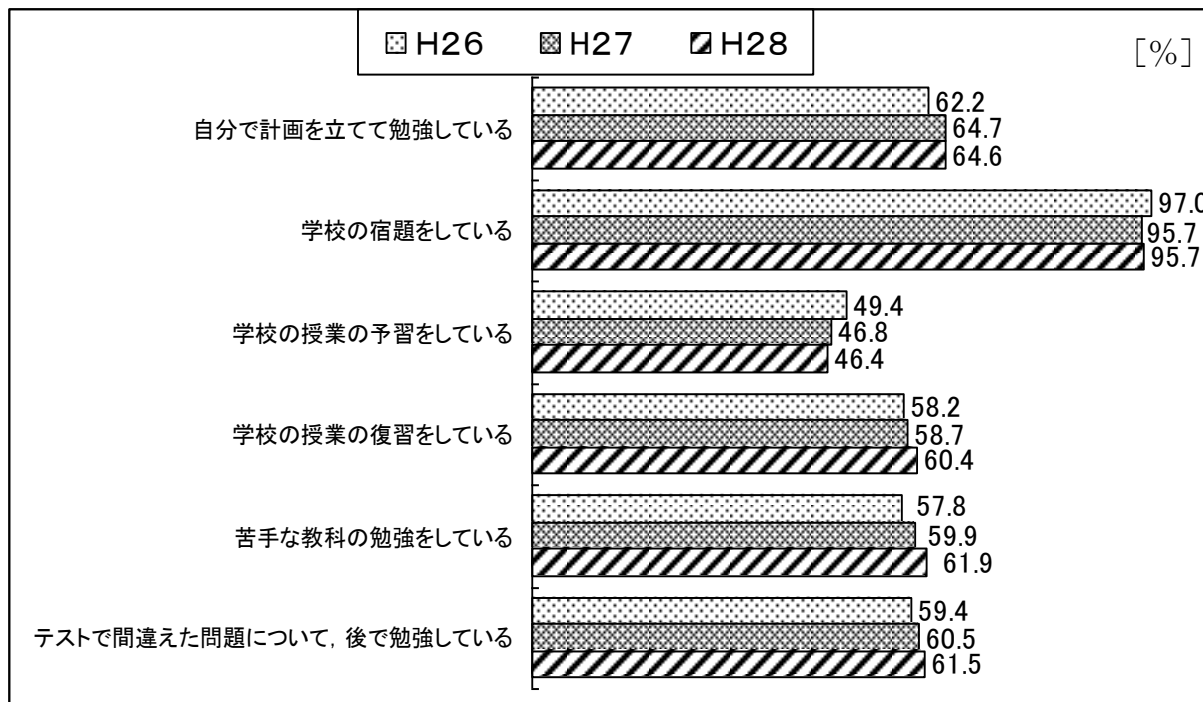
○「新聞やテレビのニュースなどに関心がある」の項目で肯定的な回答の割合が、H26と比べて6ポイント近く増加している。

○「今住んでいる地域の行事に参加している」の項目では、昨年度と比べて、1.3ポイント肯定的な回答の割合が減少した。

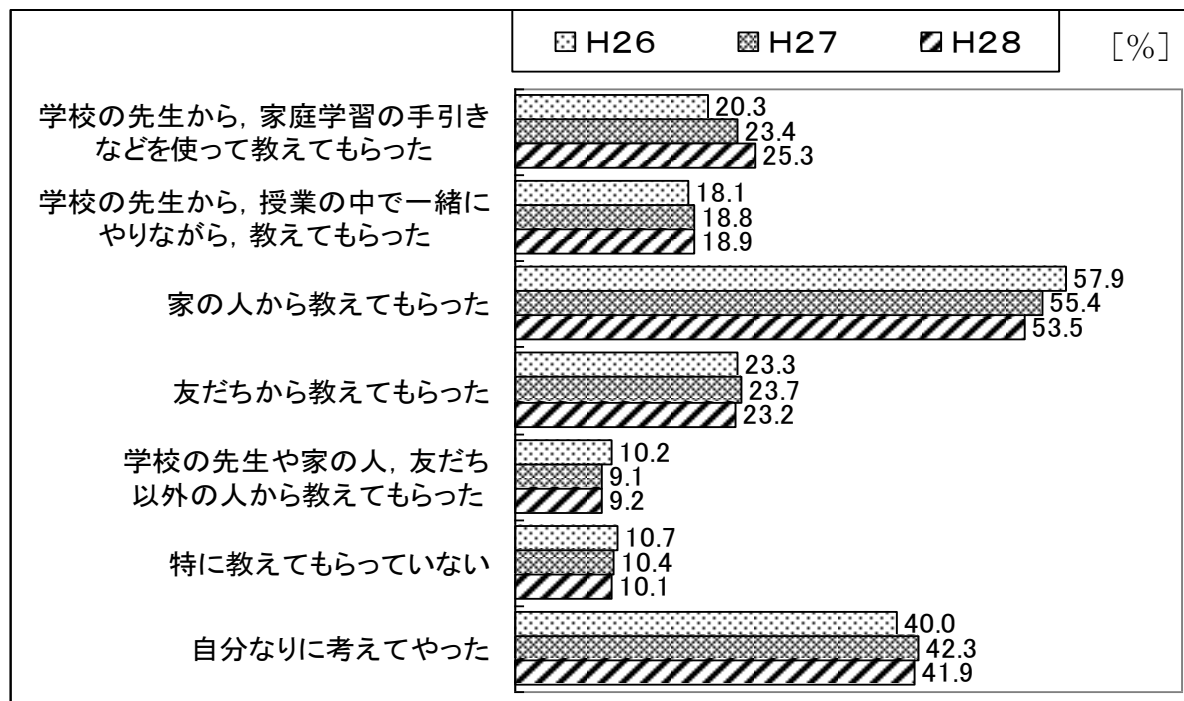
(4) 家庭での様子について

①学習の取り組み方

◇家で次のようなことをしていますか。



◇学習内容や方法について、だれからどのように教えてもらいましたか。



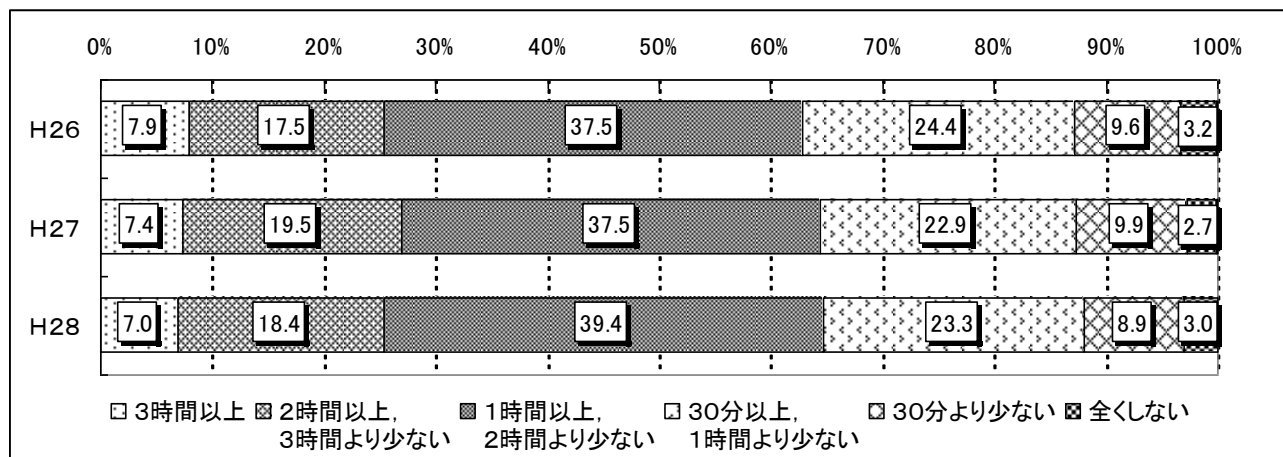
○計画的な学習・苦手な教科の学習・授業の復習等、家庭での学習の取組について、肯定的な回答をした生徒の割合は、全体的に増えている。予習の項目がH26と比較して3ポイント減っている。予習・復習の目的を明確にして、家庭学習の取組を進めることが大切である。

○家庭学習の内容や方法について、「家庭学習のスタンダード」等で指導を受けた生徒の割合が年々増えている。H26と比べると、3ポイント増えている。家庭との連携をさらに図りながら、家庭での学習習慣が身につくように、今後も継続的に手だてを講じることが大切である。

②学習時間

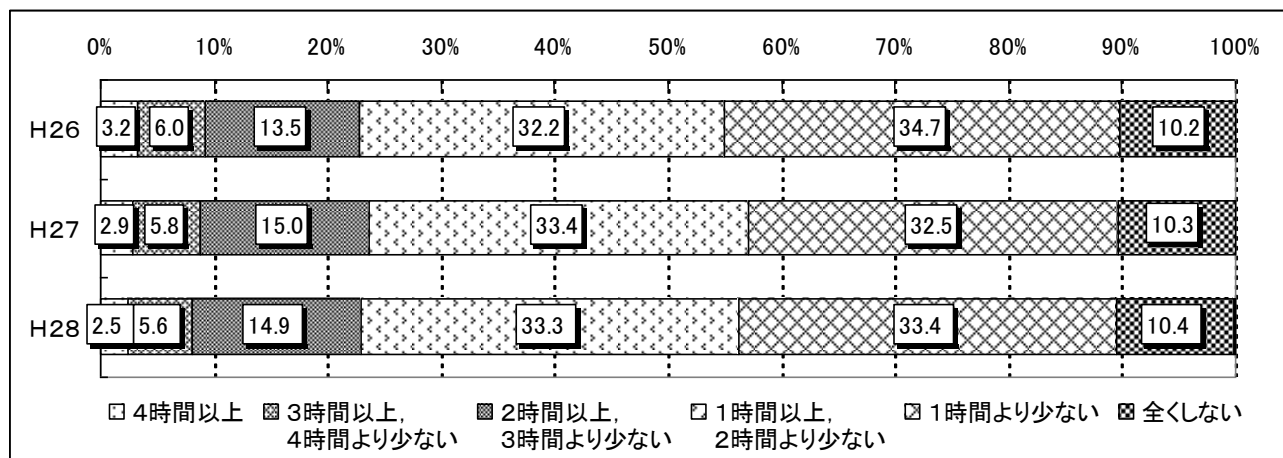
◇平日の学習時間について

学校の授業時間以外で、ふだん（月曜日から金曜日），１日あたりどれくらいの時間，勉強をしますか。（放課後に先生や地域の方に教わっている時間，学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間もふくむ。）



◇休日の学習時間について

土曜日や日曜日など学校が休みの日に，１日あたりどれくらいの時間，勉強をしますか。（地域の方に教わっている時間，学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間もふくむ。）



○平日１時間以上勉強している生徒の割合は，年々増えている。県平均との差は，今年度は昨年度に比べて縮まっていない。

- ・ H26(62.9%)→H27(64.4%)→H28(64.8%)
- ・ 県平均との差：H26(-1.6ポイント)→H27(-0.8ポイント)→H28(-1.5ポイント)

○平日，全く勉強しない生徒の割合が，H28は少し増えた。

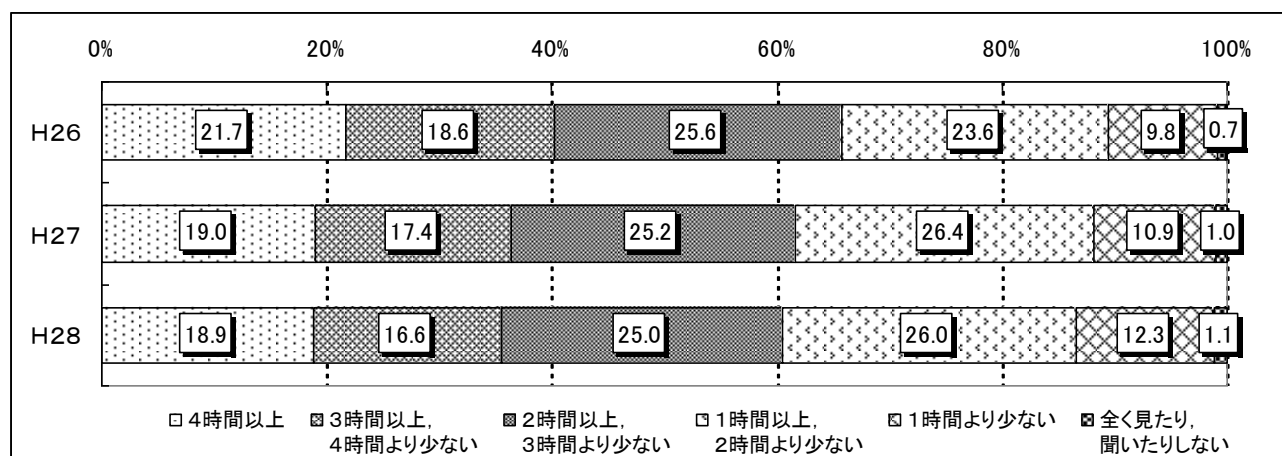
- ・ H26(3.2%)→H27(2.7%)→H28(3.0%)

○休日の学習時間についても，同様の傾向が見られる。今後も生徒が学習習慣を身につけ，計画的に毎日一定の時間以上家庭学習をすることができるように，課題の出し方についてのさらなる工夫が必要である。

③生活時間（メディア視聴時間、ゲーム時間、通話・通信時間）

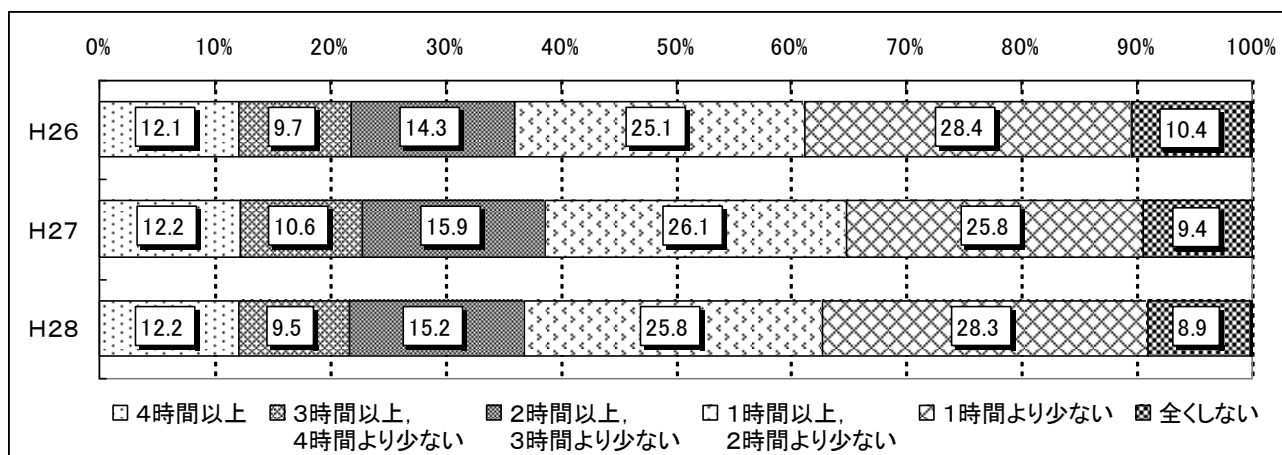
◇メディア視聴時間について

ふだん（月曜日から金曜日），１日あたりどれくらいの時間，テレビやビデオ・DVDを見ますか。（テレビゲームをする時間は除く。）



◇ゲーム使用時間について

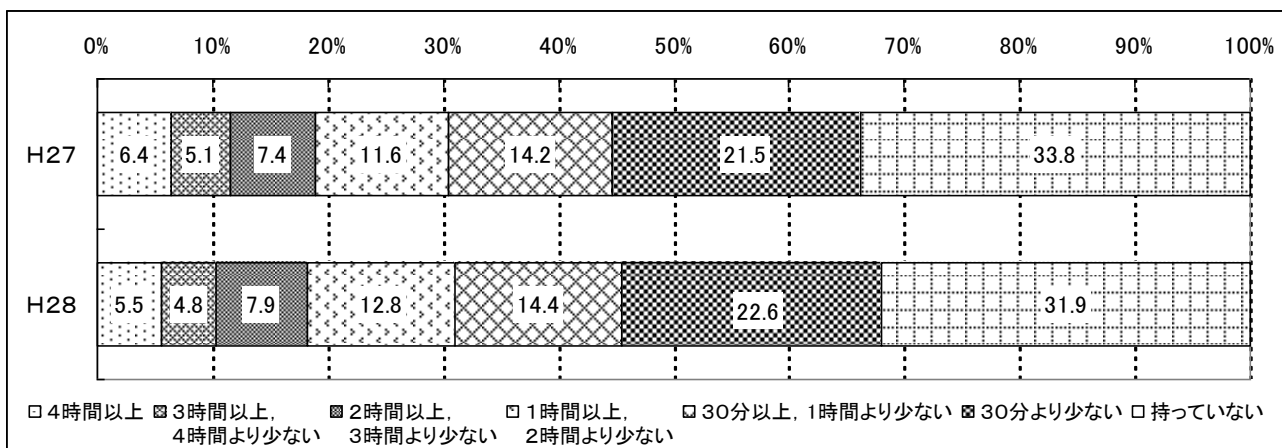
ふだん（月曜日から金曜日），１日あたりどれくらいの時間，テレビゲームをしますか。（コンピュータゲーム，携帯式のゲーム，携帯電話やスマートフォンを使ったゲームもふくむ。）



◇携帯電話・スマートフォンでの通話・通信時間について

ふだん（月曜日から金曜日），１日あたりどれくらいの時間，携帯電話やスマートフォンで通話やメール，インターネットをしますか。

（携帯電話やスマートフォンを使ってゲームをする時間は除く。）※H27から質問項目に追加



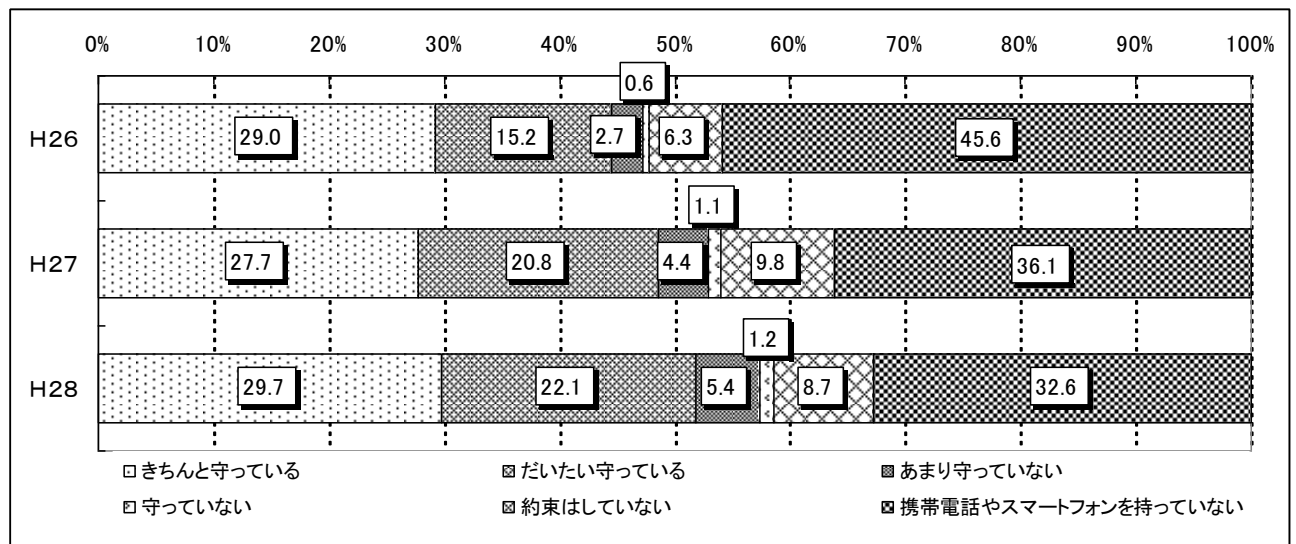
○メディア視聴時間、ゲーム使用時間については、1時間より少ないと回答した生徒の割合が増え、全体的に長時間視聴する生徒の割合は減ってきている。

○昨年度から質問項目に加わった携帯電話・スマートフォンでの通話・通信時間については、改善は見られるものの、依然、平日に1日1時間以上の生徒の割合が3割を超えており、県平均と比べても通話・通信時間が長い。

○携帯電話・スマートフォンの所持率の増加を考えると、長時間利用傾向がさらに進む可能性があると考えられる。ネットモラルの視点も含め、生活時間における課題の改善に、今後も引き続き取り組む必要がある。

④携帯電話・スマートフォンの使い方

◇携帯電話やスマートフォンの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか。



○携帯電話・スマートフォンを持っていない生徒の割合が年々減っており、携帯電話・スマートフォンの所持率が年々高くなっている。

〔所持率〕 H26(54.4%)→H27(63.9%)→H28(67.4%)

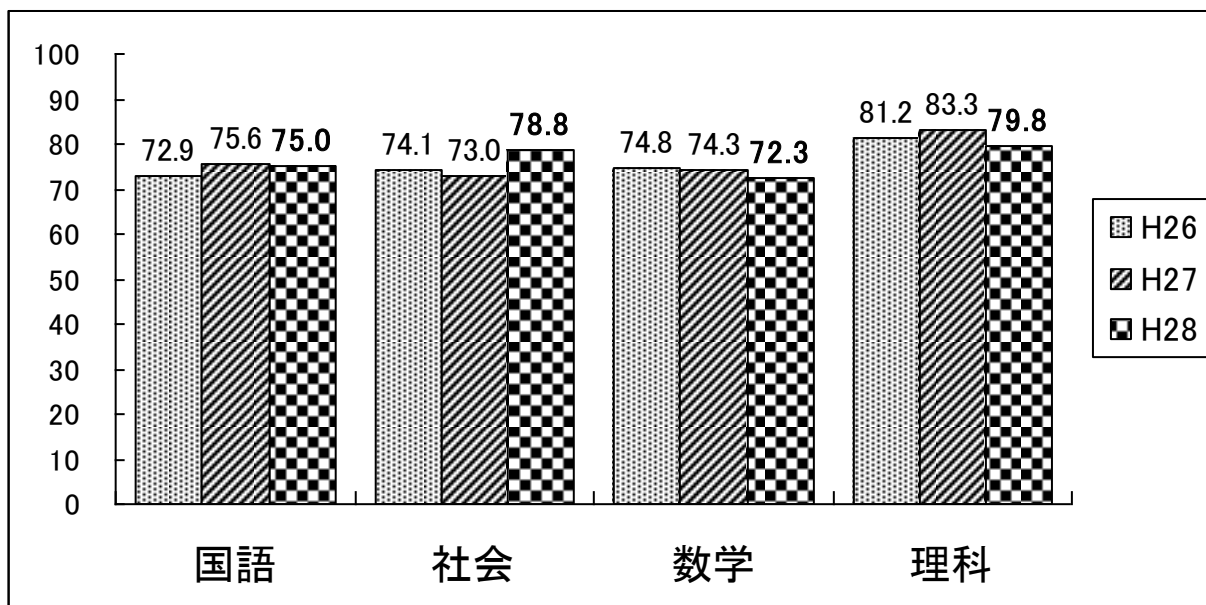
○携帯電話・スマートフォンの使い方について家の人と約束はしていないと回答した生徒の割合が減り、約束を守っていると回答した生徒の割合が増えている。このことから、各学校で実施している保護者や児童生徒を対象にした情報モラル学習の成果が見られる。

(5) 学校での学習について

①教科等に関する意識

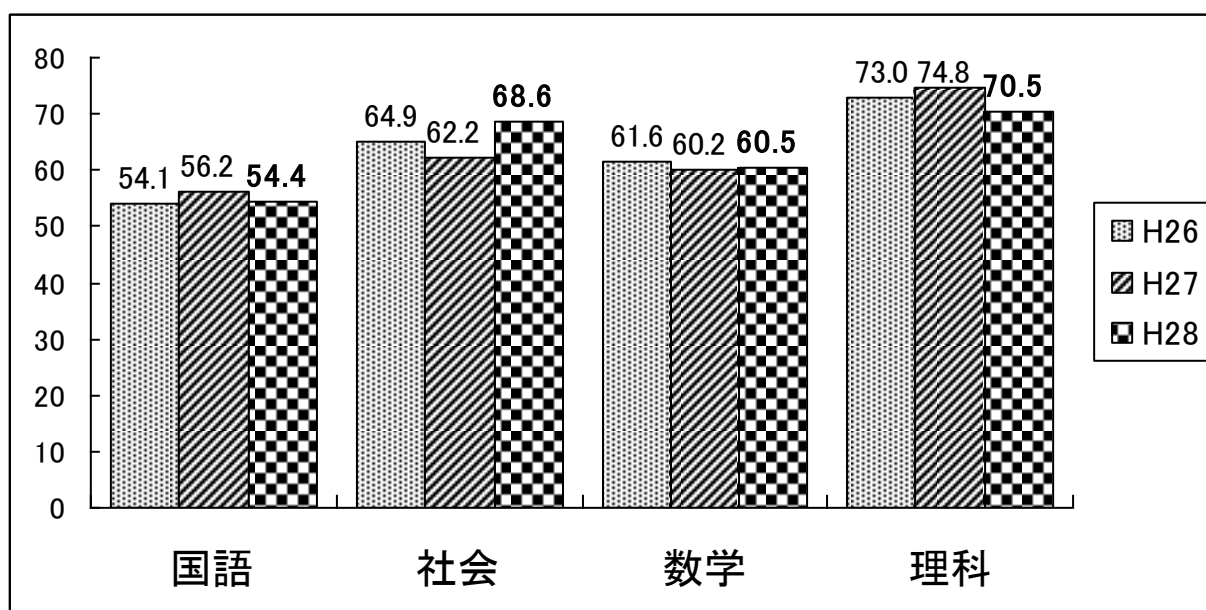
◇授業の内容はよく分かる。

肯定的な回答の割合 (%)



◇教科の勉強は好きだ。

肯定的な回答の割合 (%)



○「授業の内容はよく分かる。」「教科の勉強は好きだ。」のいずれの項目についても、4教科の中で、理科の肯定的な回答の割合が3か年とも高くなっている。

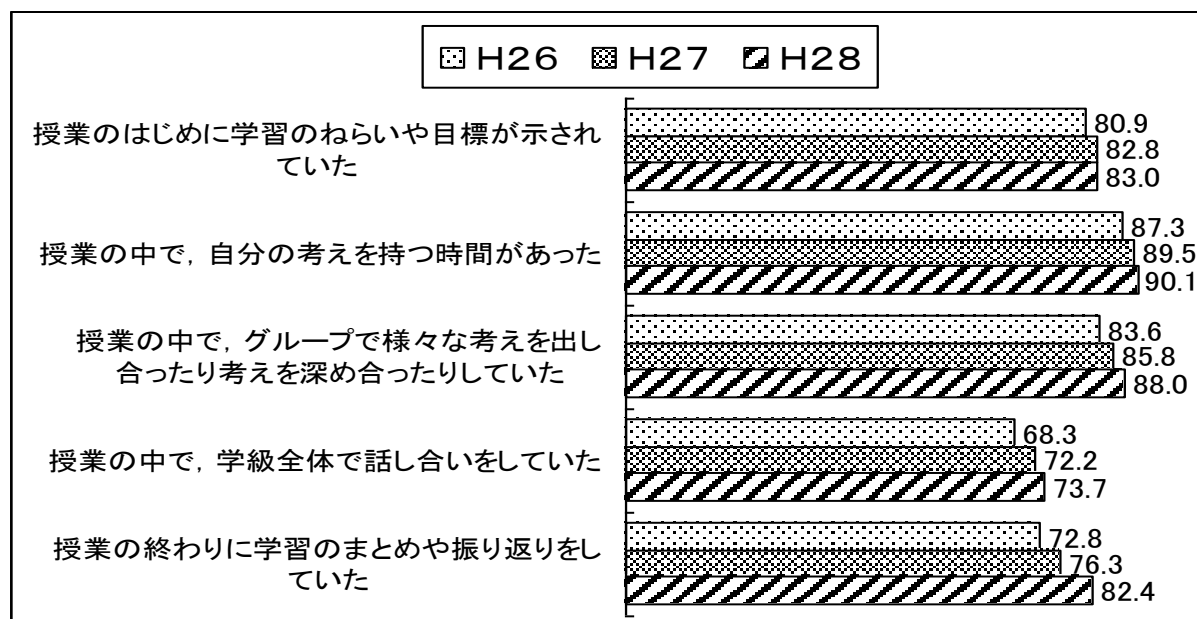
○社会の「授業の内容はよく分かる。」「教科の勉強は好きだ。」の項目については、最近の3か年で最も肯定的な回答の割合が高くなっている。

○「授業の内容はよく分かる。」の項目について、数学と理科では、最近の3か年の中で、最も肯定的な回答の割合が少なくなっている。

②学校の授業

◇学校の授業では、どのように学習が進められていましたか。

肯定的な回答の割合（％）

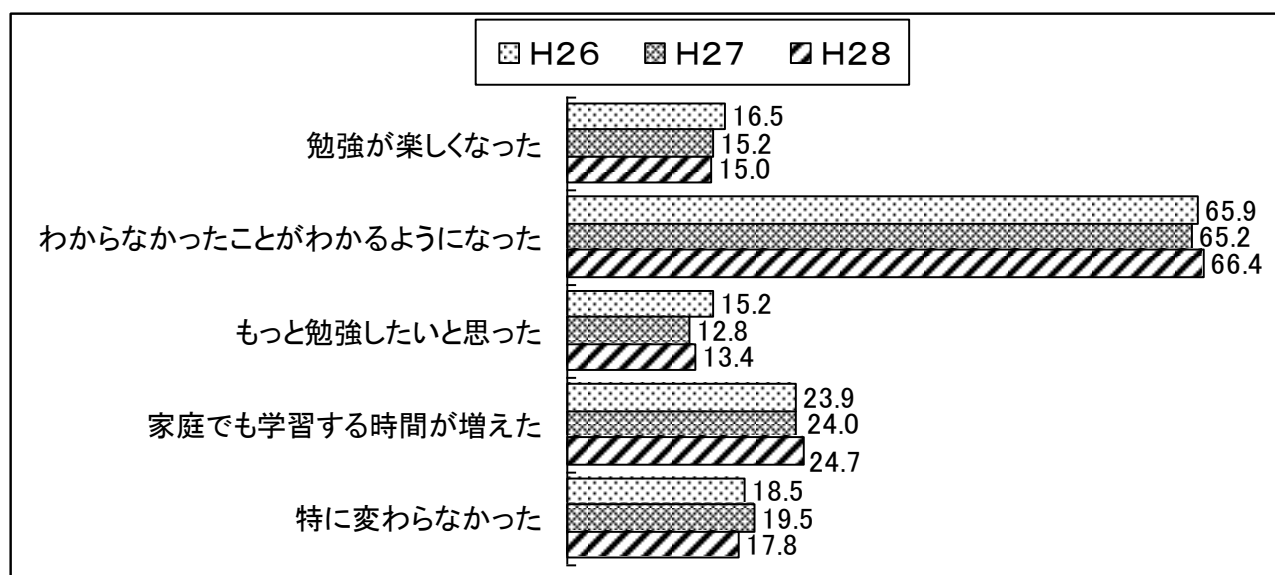


○5つの項目すべてで、肯定的な回答をした生徒の割合が経年比較で最も高くなっており、一昨年度配付した「岡山型学習指導のスタンダード」を用いた授業改善が進んでおり成果が現れている。しかし、県平均と比較すると、下回っている。引き続き、研修会等で「岡山型学習指導のスタンダード」を活用した授業改善の周知・継続を図ることが大切である。

（6）その他の学習について

◇放課後や土曜日、夏休みなどで学校の先生や地域の方などと勉強して、どうでしたか。

肯定的な回答の割合（％）



○「わからないことがわかるようになった」の項目については、肯定的な回答をした生徒の割合は、H26、H27と比べると増えている。

○家庭学習の時間も、わずかであるが増えており、補充学習の成果が見られる。

5 総 括

(1) 標準スコアによる3年間の状況

※標準スコア…県平均(正答率)を50とした相対的位置を示したスコア

国語		28年度	27年度	26年度
教科	教科総合	49.4	50.0	50.0
	基礎	49.6	50.0	50.2
	活用	49.2	49.9	49.6
観点	話す・聞く能力	49.5	50.2	49.9
	書く能力	49.5		49.4
	読む能力	49.1		
	言語についての知識・理解・技能	49.8	50.1	50.7

社会		28年度	27年度	26年度
教科	教科総合	50.7	49.9	49.9
	基礎	50.7	50.0	50.1
	活用	50.6	49.6	49.5
観点	社会的な思考・判断・表現	50.0	49.6	49.5
	資料活用に関する技能	50.6	50.0	49.9
	社会的な事象についての知識・理解	50.9	50.0	50.1

数学		28年度	27年度	26年度
教科	教科総合	49.0	49.3	49.5
	基礎	49.0	49.2	49.4
	活用	49.3	49.4	49.7
観点	数学的な考え方	49.3	49.3	49.7
	数量や図形についての技能	49.0	49.3	49.5
	数量や図形についての知識・理解	49.1	49.4	49.4

理科		28年度	27年度	26年度
教科	教科総合	49.3	49.6	49.4
	基礎	49.2	49.8	49.5
	活用	49.5	49.7	49.3
観点	科学的な思考・表現	49.5	49.7	49.2
	観察・実験の技能	48.7	50.0	49.3
	自然事象についての知識・理解	49.7	49.8	50.1

(2) 問題内容別正答率

国語	漢字の読み・書き	文法・語句に関する知識	保健だよりの作成	物語の読み取り
倉敷市	84.2	54.0	57.9	47.7
岡山県	83.0	57.1	59.6	50.3

社会	学校の周りの様子	岡山県の様子	世界の中の国土	私たちの生活と情報	飛鳥時代～平安時代	室町時代	市民の願いと政治
倉敷市	74.8	43.7	68.5	85.7	58.0	41.9	41.1
岡山県	67.9	42.3	67.1	86.4	60.0	41.9	38.8

数学	整数の加法、乗法	小数や分数の計算	角の大きさ、量の単位のしくみ	単位量あたりの大きさ、速さ、平均	平面図形の面積	立体図形	合同、拡大図・縮図、対称な図形	四則計算の性質、変り方調べ	百分率、割合、比
倉敷市	82.7	77.0	53.3	73.7	49.1	71.7	69.2	58.8	37.6
岡山県	83.6	79.3	56.9	75.3	53.2	75.0	71.4	58.7	40.2

理科	生物の体のつくりとはたらき	太陽の動きと気温	ふりこのきまり	水よう液の性質	電気の利用	流れる水のはたらき
倉敷市	60.7	68.8	54.6	54.7	67.7	41.6
岡山県	62.7	70.1	55.2	56.9	69.2	42.7

(3) 学力調査の結果から

◆国語について【○成果 ●課題】

- 正答率 60%以上の問題数は、平成 28 年度は 15 問/23 問(65.2%)で、平成 27 年度の 11 問/19 問(57.9%)と比べて増えている。
- 漢字の読みについては、全問 90%を超える正答率になっている。
- 漢字の書きについては、正答率が高い問題が多いが、「沿岸」については、市、県ともに正答率が低く、無回答率が高い。
- ことわざの問題については、市の正答率が 51.0%に対して、県の正答率が 60.8%ある。無回答率も、市のほうが県に比べて高くなっている。

◆社会について【○成果 ●課題】

- 正答率は、平成 27 年度より 7.4 ポイント上昇している。正答率 60%以上の問題数は、平成 28 年度は 11 問/20 問(55.0%)で、平成 27 年度の 9 問/24 問(37.5%)と比べて増えている。
- 地図記号については、高い正答率になっている。地理的分野において、正答率が 65.5%であった。
- 歴史的分野、公民的分野では、正答率が 60%に達していない。(歴史的分野 51.1%、公民分野 41.1%)
- 条件に合わせて各資料から必要な情報を読み取る問題(通し番号 20)においては、市・県ともに最も正解率が低い。文章や各種資料から抽出したことを根拠として示しながら、自分の考えをもち、説明することができる指導の充実が必要である。

◆数学について【○成果 ●課題】

- 正答率 60%以上の問題数は、平成 28 年度は 15 問/24 問(62.5%)で、平成 27 年度の 12 問/23 問(52.2%)と比べて増えている。
- 領域「数と計算」、「量と測定」、「図形」は 60%以上の正答率である。観点別については、「数量や図形についての技能」「数量や図形についての知識・理解」が、70%以上の正答率である。特に、計算問題については高い正答率である。
- 領域「数量関係」は 50.3%の正答率である。正答率が 60%に達していない問題数は、9 問あり、そのうち 4 問が「量と測定」、4 問が「数量関係」であった。
- 観点「数学的な考え方」は 50%に達していない。正答率が 60%に達していない問題数は 9 問あり、そのうち 7 問が「数学的な考え方」であった。観点「数量や図形についての技能」は 8 問/24 問あり、そのうち 7 問は正答率 60%以上であった。分度器を用いて、鈍角を測る問題が最も低い正答率 31.9%であった。

◆理科について【○成果 ●課題】

- 観点「自然事象についての知識・理解」は 60%以上の正答率である。動物と植物の呼吸、植物の光合成において出入りする気体の名称については、定着状況が良好である。
- 天気から気温のグラフを推測することができており、資料を読み取る力がついてきたことがうかがえる。
- 正答率 60%以上の問題数は、平成 28 年度は 8 問/21 問(38.1%)で、平成 27 年度の 12 問/21 問(57.1%)と比べて減っている。
- 市において、正答率が 60%に達していない問題数は 13 問あり、そのうち 9 問が観点「科学的な思考・表現」である。観察・実験のデータを分析し、根拠や理由を示しながら自分の考え(考察)を記述することができる学習活動の充実を図る必要がある。

(4) 学習状況調査の結果から【○成果 ●課題】

◆自己意識と生活の様子について

- 友達との関係、自尊感情や規範意識に関する項目について、肯定的な回答をした生徒の割合が引き続き高い。
- 新聞やニュースへの関心については、年々数値が増えている。
- 地域の行事への参加については、県との差が最も大きい。

◆家庭での学習・生活について

- テレビやビデオ、DVDの視聴時間は年々減少する傾向が見られ、中学校区などで統一して取り組んでいるノーメディアデー等の取組の効果がみられる。
- 家庭での学習については、平日1時間以上学習している割合が少しずつ増えている。
- 携帯電話・スマートフォンの所持率も上昇しているが、ゲーム使用時間や携帯電話・スマートフォンでの通話・通信時間は減少傾向にある。使用に関する自律的行動の定着を喚起する取組が引き続き重要である。

◆学校での学習について

- ねらいや目標の提示、グループ学習の設定、自分の考えをもったり全体で話し合ったりする時間の確保、まとめや振り返りの実施等で、県平均とは差があるものの改善がみられる。特に、まとめや振り返りの実施では、前年度より6ポイント増えており、授業において、「岡山型学習指導のスタンダード」で示されている重要な点である「授業ファイブ」への意識が高まっている。
- 社会を除く教科では、「授業の内容はよくわかる」が、昨年度に比べて下がっている。また、国語と理科においても、「教科の勉強は好きだ」が昨年度に比べて下がっている。分かる授業を展開することで、生徒に意欲をもたすことが重要である。

◆その他の学習について

- 授業以外の学習（放課後・土曜日・夏休み等）については、「わからなかったことがわかるようになった」と回答した生徒の割合が高い。補充学習を通して、学習のつまずきが解消されていることがうかがえる。

(5) 考察

◇標準スコアにおける全体の傾向をみると、平成28年度の教科総合の数値は、社会は県より数値が上回っている。他の3教科は下回っているが、1ポイント以下の差である。経年変化を見ても、1ポイント以上の差は見られない。

◇本調査は、各教科とも平均正答率60%を想定して作問されている。県との相対的な考察も実施しつつ、平均正答率が60%に満たない教科や領域、観点、問題内容に着目して、手立てを考える必要がある。各学校においては、平均正答率60%という絶対評価の視点から、手立てが必要な課題に対する優先順位を共通理解し、既習事項の確実な定着に向けて取り組む必要がある。

◇過去の学力調査で課題となっていた問題の類似問題（1文を2文に分ける、ことわざや慣用句、たしかめ算、顕微鏡の操作等）の多くについては、平均正答率が上昇しており、十分な定着が図られているとは言えないものもあるが、改善に向けて各学校が取り組んだ成果が見られる。

◇春休みの課題の類似問題については、正答率が高くなっている。一方で、昨年度の全国学力・学習状況調査（小学校6年生対象）では、平均正答率が高かった問題の類似問題（鈍角の測定等）の中には、当時より平均正答率を下げているものもある。このことから、課題となっているものだけでなく、学年、学期、単元を超えてバランスよく既習の学習内容を定期的に復習することで、より着実に学習内容の定着を図ることが必要であると考ええる。

◇学習状況調査では、授業中のはじめに学習のねらいや目標が示されたり、授業の終わりに学習のまとめや振り返りが実施されていたりしていると回答した割合が増えており、「岡山型学習指導のスタンダード」に基づいた校内統一での授業改善が確実に進んでいることが分かる。

◇基礎問題に対して、活用問題の平均正答率が低くなる傾向は改善されていない。特に、記述式の問題については、依然として正答率が低い傾向がある。必要な情報を判断したり、複数の資料を比較したり関連付けたりすること、条件に基づいて考えをまとめたり、根拠を明らかにしながら適切な表現で説明したりすることができる力を身に付けさせることが大切である。今後は、そのためのめあての設定や言語活動の充実を意識した授業づくりを進めていく必要がある。

◇下位層の割合は、県との差が小さくなっており、少人数指導や放課後学習、学習支援システム等を使った補充学習の成果が見られる。しかしながら、上位層の割合は少ない。今後は、下位層のつまずきを解消するだけでなく、中位層の学力を引き上げる取組も進める必要があると考ええる。

◇携帯電話やスマートフォンの所持率は、昨年度よりも上昇しているが、使用時間は減少する傾向にある。テレビ等の視聴時間やテレビゲーム等をする時間も同様の結果となっている。中学校区で統一して期間を決めるなどの工夫をしながら、メディアコントロールに取り組んできた成果が見られる。

◇昨年度の調査結果と比較して、家庭学習については、学校の先生から家庭学習の手引きなどを使って内容や方法が指導されている割合が増加しており、それに伴って、家庭学習の時間も伸びている。家庭学習の習慣化や、学習内容の確実な定着につながるよう、今後も家庭学習に対する指導の充実を図ることが大切である。

◇どの教科も、記述を求める問題形式の正答率が低い。文章の中から根拠を見つけたり、構成を読み取ったりする力の向上が求められる。また、問題文を正しく読み解く力も必要である。そのために、家庭や学校での読書をする機会を増やして、総合的な読解力、判断力を身につける機会を増やしていきたい。

倉敷市の取組（県の取組を含む）

① 学力・学習状況調査の分析・研修

- 倉敷市教育委員会指導課が調査結果の分析を行い、学力向上研修会や教育課程連絡協議会等において、結果を説明する場を設けることで、小・中学校の教員が情報の共有をする。

② 授業力アップ支援事業

- 授業の経験が豊富で、優れた指導力をもつ退職教員等を授業力アップ支援員として任用し、授業力アップ支援員が指定校の教員に指導方法や教材研究等について指導・助言等の支援を行うことにより、教員の授業力を向上させる。
- 授業力アップ支援事業指定校が、市内の学校の教員を対象に授業を公開し、研究協議会を開催することにより、市内の学校の教員の授業力向上に役立てる。

③ 学力向上支援事業

- 基礎学力の定着や基本的生活習慣の確立等に支援を必要とする児童生徒に対して、授業時間や放課後等の時間に、教員と連携しながら学習支援員が児童生徒に効果的な個別支援等を行うことにより、基礎学力の定着を図る。
- 学習支援システムを活用し、児童生徒の状況に応じた学習支援や個別指導を行い、児童生徒の基礎学力や学習意欲の向上を図る。

④ 学力・学習状況改善プランの作成及び実施

- 倉敷市児童生徒学力調査、岡山県及び全国学力・学習状況調査の結果を分析し、学校の課題を改善するために「学力・学習状況改善プラン」を作成する。目標を設定し、12月、3月に達成状況の確認を行う。

⑤ 小・中学校の連携による学力向上の取組

- 管理職研修や教員対象の研修会・説明会等において、中学校区で情報交換や取組状況等についてグループ協議を行う。
- 倉敷市児童生徒学力調査、岡山県及び全国学力・学習状況調査の結果を活用し、中学校区の研修会を開催する。
- 中学校区において、行事や公開授業等の機会を通じ、小・中学校が互いの理解・連携を深めるとともに、基本的生活習慣（学習習慣を含む）等について、具体的取組を行う。

⑥ 確かな学力の基盤となる基本的生活習慣の確立

- 全国及び岡山県学力・学習状況調査における学習状況調査等の結果を分析するとともに、子どもミーティングを開催し、携帯電話・スマートフォンの使い方について自ら考える機会をつくる。
- 倉敷市PTA連合会及び倉敷市公立幼稚園PTA連合会等、PTAとの連携を深め、働きかけを行う。

⑦ 春休みの課題の作成・配付

- 学年末・学年始休業中に、学習習慣を継続し、基礎・基本の事項を再確認することで、円滑に次学年及び中学校での学習への接続ができるよう、教育委員会が小学校第5・6学年、中学校第1・2学年に春休みの課題を作成・配付する。

⑧ 指導教諭による公開授業

- 指導教諭による、所属校での校内研究の企画・運営や各地域に向けた授業公開等により、地域の授業改革の核として、学力向上の取組を推進する。（岡山県事業）

⑨ 学習到達度確認テストの活用

- 各学校に配付されており、県総合教育センターのホームページからも配信されている学習到達度確認テストを活用し、児童生徒の学習到達度を確かめるとともに、学習指導の充実を図る。（岡山県事業）

⑩ 魅力ある授業づくり徹底事業

- 指導主事や退職教員等の積極的な派遣により、授業改善に向けた指導・助言等や校内研修等の支援を継続的に行うことで、教員の授業力向上を図り、児童生徒に確かな学力を育成する授業の実現を図る。（岡山県事業）

⑪ 放課後学習サポート事業

- 小・中学校に支援員を配置し、放課後等に補充的な学習を実施することで、児童・生徒に学習内容の確実な定着を図る。（岡山県事業）

⑫ 学びのチャレンジコンテスト(小学生対象)

- 児童が様々な課題に、個人やグループ、クラスで挑戦することを通して、考える楽しさや解けた喜びを味わうことにより、自ら進んで学ぼうとする意欲やチャレンジ精神の喚起を促す。（岡山県事業）

⑬ 授業改革推進リーダー・推進員の配置

- 地域内の学校を継続的に訪問し、授業改善や校内指導体制への指導・助言を専門的に行う「授業改革推進リーダー・推進員」を配置することで、教員の授業力向上や学校の学力向上の取組を支援するとともに、児童生徒の学力向上を図る。
※推進リーダー2名・推進員8名、本務校・兼務校合わせて市内26校に配置
（岡山県事業）

〈参考資料〉

平成２８年度岡山県学力・学習状況調査の調査対象である中学校１年生が，平成２７年度に小学校６年生として調査した全国学力・学習状況調査の結果との比較。

※教科は，国語，算数・数学について掲載。

※下記の【県調査】の数値は，県立中学校等に進学した生徒の数値を含むため，当報告書の
P 3（１）の数値とは差異がある。

教 科	国語			算数・数学		
調査種類	A問題 【全国調査】	B問題 【全国調査】	【県調査】	A問題 【全国調査】	B問題 【全国調査】	【県調査】
年 度	H27		H28	H27		H28
倉敷市平均	69.5	65.0	64.5	75.5	44.9	66.9
岡山県平均	69.2	64.5	64.9	75.2	44.8	68.1
全国平均	70.0	65.4		75.2	45.0	
県との差	+0.3	+0.5	-0.4	+0.3	+0.1	-1.2
国との差	-0.5	-0.4		+0.3	-0.1	